

令和2年度 緑区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書番号	事業名	2年度		元年度		増△減(2-元)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
1	区民から親しまれる区役所づくり事業	5,663	5,663	4,132	4,132	1,531	1,531
2	広報・広聴事業	2,763	2,331	1,881	1,449	882	882
3	みどり！まるごと応援事業	4,064	4,064	3,415	3,415	649	649
4	みどり地域まちづくり推進事業	2,928	2,928	1,928	1,928	1,000	1,000
5	アートによる緑区の魅力発信事業	4,500	4,500	0	0	4,500	4,500
6	みどり環境行動啓発事業	1,000	1,000	0	0	1,000	1,000
7	緑区商店街振興事業 【前年度：足を運んでみよう！商店街事業】	2,810	2,810	1,308	1,308	1,502	1,502
8	身近で親しみやすい水辺環境づくり事業	1,600	1,600	2,340	2,340	△ 740	△ 740
9	魅力ある公園づくり事業	450	450	450	450	0	0
10	花と緑あふれるふるさと緑区事業	2,500	2,500	0	0	2,500	2,500
11	生物多様性保全に向けた遊水地等の環境整備事業	5,000	5,000	0	0	5,000	5,000
12	3R推進事業	2,147	2,147	2,146	2,146	1	1
13	きれいなまちづくり事業	2,318	2,318	2,151	2,151	167	167
14	区民まつり事業	5,400	5,400	4,900	4,900	500	500
15	地域振興事業	2,189	2,189	1,935	1,935	254	254
16	災害に強いまちづくり事業	7,567	7,567	7,410	7,410	157	157
17	安全・安心まちづくり推進事業	1,967	1,967	1,760	1,760	207	207
18	交通安全対策事業	2,802	2,802	2,696	2,696	106	106
19	市民活動パワーアップ支援事業	3,572	3,572	2,872	2,872	700	700
20	緑・芸術文化事業	3,611	3,611	2,523	2,523	1,088	1,088
21	みどりスポーツ振興事業	1,795	1,795	1,981	1,981	△ 186	△ 186
22	読書活動推進事業	500	500	300	300	200	200
23	子どものまちづくりイベント Mini Mini Midori	3,500	3,500	0	0	3,500	3,500
24	青少年地域サポート事業	1,479	1,479	859	859	620	620
25	あんしん子育てネットワーク事業	7,523	7,523	7,568	7,568	△ 45	△ 45
26	保育所すこやか子育て支援事業	2,717	2,681	2,721	2,685	△ 4	△ 4

予算区分	区役所総務費	性質・課題区分	窓口サービス向上	事業開始年度	平成20年度
------	--------	---------	----------	--------	--------

事業名	区民から親しまれる区役所づくり事業
-----	-------------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--------------------------------------------------------------------

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	1
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,663					5,663
前年度	4,132					4,132
増△減	1,531	0	0	0	0	1,531

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	3,470	3,497	3,488
メリット+一般財源	3,470	3,497	3,488
決 算 事業費	5,221	3,450	7,030
メリット+一般財源	5,221	3,450	7,030

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	5,663	5,663
算 一般財源	5,663	5,663

方針に関する決裁 種別()
 有:件名()、日付(年月)
 無

事業の概要(目的)	「おもてなしの行政サービス」による区民満足度の向上や、「協働による地域づくり」の推進のため、区役所職員の接遇向上や庁舎環境の整備に取り組むとともに、人権問題への気づきの場として職員向け人権啓発研修や区民向け人権啓発講演会を実施します。また、緑区の各表彰制度に基づき区民・団体を表彰します。
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等

区役所において、区民満足度の向上を図り、協働による地域づくりを推進することは普遍的に取り組むべき課題です。正確かつ親切・丁寧な窓口サービスを提供し、区民が快適に利用できる庁舎環境を維持する必要があります。また、差別のない社会の実現のため、人権啓発活動は継続して実施することが重要です。さらに、緑区の発展や区政に功労のあった個人又は団体について、区として功労を称える必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート
-------------	------------	-----------

2 運営方針等との関係 令和元年度緑区運営方針 「目標達成に向けた組織運営」

3 根拠法令・要綱等 横浜市人権施策基本方針、緑区長表彰要綱、緑区こもれび踊るふれあいのまちづくり頭章要綱

【実績の推移・今後見込み】

○責任職向け・職員向け接遇向上研修受講者

	27年度	28年度	29年度	30年度
責任職向け接遇リーダー研修	38名	158名	105名	窓口における実践研修(8課)
職員向け接遇向上研修	245名			

○人権啓発講演会参加者数

	28年度	29年度	30年度
タイトル	「スマホ時代」を生きる中高生の課題と可能性について	天使がこの世に降り立てば ～ダウン症者の書家 翔子と歩んできた道～	共に、生きる。写真で紡ぐ希望 ～フォトジャーナリスト安田菜津紀が出会った世界～
講師	竹内 和雄(兵庫県立大学准教授)	金澤 泰子(書家)	安田 菜津紀(フォトジャーナリスト)
参加者数	164名	530名	303名

【実施内容】

- 1 接遇向上等研修事業
職員向けに接遇向上研修を実施し、日頃市民に接する機会の多い職員の接遇向上を目指します。
- 2 人権啓発・職員研修事業
(1) 区民向け人権啓発講演会を開催します。
(2) 責任職向けに人権に関するグループ研修及びグループ全体研修を実施します。
(3) グループ研修により理解を深めた人権問題について、各グループによる職員向け研修を実施します。
(4) 各区局が主催する講演会・研修へ積極的に参加します。
- 3 緑区表彰事業
緑区の発展や区政に功労のあった個人又は団体に対し、その功績を称え表彰を行います。
- 4 緊急的課題への対応
庁舎の美化・緑化や窓口環境の整備などを行うとともに、緊急的課題等に対応します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
接遇向上等研修事業	自 500	自 500	0	
人権啓発・職員研修事業	自 615	自 615	0	
緑区表彰事業	自 190	自 250	△ 60	
緊急的課題への対応	自 4,358	自 2,517	1,841	待合スペースの改善に伴う増
ミドリン商標登録	自 0	自 250	△ 250	
			0	
事業費合計	5,663	4,132	1,531	
内 自主企画事業費	5,663	4,132	1,531	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

区役所窓口外部評価、窓口サービス満足度調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	山田 源太	佐藤 治憲	小島 由花

(緑 区 - 1)

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成17年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名	広報・広聴事業
-----	---------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--------------------------------------------------------------------

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	3
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,763		432			2,331
前年度	1,881		432			1,449
増△減	882	0	0	0	0	882

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算 事業費	7,774	7,026	6,700
メリット+一般財源	7,774	7,026	6,277
決算 事業費	6,861	7,203	7,447
メリット+一般財源	6,861	7,203	7,056

歳出	令和3年度	令和4年度
予算 事業費	2,763	2,763
一般財源	2,331	2,331

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年 月)
無

事業の概要(目的)	区民に積極的に区政情報の提供を行い区民生活の利便性を高めるとともに、区政への理解を深めます。また広聴事業により、多様化する区民ニーズや地域の課題を把握し、円滑な区政運営を図ります。
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等

- ・区民や転入者向けに震災時の避難場所や公共施設等の情報を入手する手段を提供する必要があります。
- ・区政及び市政運営に当たって、市民の声を反映させていくことは重要です。
- ・市民からの提案事業をはじめ、緑区役所意見箱など様々な広聴手段により区民ニーズを把握し、区政・市政に反映させていく必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	2 陳情	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	------------	------	--------	-------------

2 運営方針等との関係	令和元年度緑区運営方針「3 みどりの魅力あふれるまち」
-------------	-----------------------------

3 根拠法令・要綱等	・「市民の声」事業の実施に関する取扱要綱 ・「緑区役所意見箱」制度実施要綱
------------	------------------------------------------

【実績の推移・今後見込み】

- みどり区ガイド・防災マップ発行事業
平成28～30年度：15,000部
- 広報スキルアップ研修
参加参加者数 平成28年度：26人、29年度：41人、30年度：36人、令和元年度：36人
- 緑区役所意見箱運営事業相談件数
平成28年度：37件、平成29年度：29件、平成30年度：37件
- ふれ愛トーク
平成28年度：4回、平成29年度：3回、平成30年度：3回
- 駅PRボックス活用事業
平成30年度 駅PRボックスを拡充。令和元年度 区内6駅PRボックスへの広報紙の掲示等のメンテナンス
- 総合案内窓口改善事業
平成30年度 総合案内窓口来庁者数43,519人、法律相談利用組数368組(稼働率92.9%)、税務相談利用組数28組(稼働率93.3%)

【実施内容】

- みどり区ガイド・防災マップ発行事業
区内の公共施設や医療機関、防災拠点等を掲載した地図を転入者等に配布します。
発行時期：3月
- 広報スキルアップ事業
区民に効果的な広報ができるよう、職員向け広報スキルアップ研修を実施します。
実施時期：5～6月頃
- 緑区役所意見箱運営事業
年間を通じ、開庁時間内に来庁した区民から、区役所に対する意見や要望を聴取し、市民サービスの向上を図ります。
- ふれ愛トーク
区内で活動している団体と区長が懇談します。
- 駅PRボックス活用事業
区内6駅PRボックスに広報よこはまの特集ページの掲出等の従来のメンテナンスに加えて、区の事業に関するチラシ等の配架を行い、区政情報の発信力を高めます。
- 総合案内窓口改善事業
区役所の顔となる総合窓口の環境を整備し、更なる区民満足度の向上を目指します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
みどり区ガイド・防災マップ発行事業	自 1,590	自 1,590	0	
広報スキルアップ事業	自 206	自 206	0	
緑区役所意見箱運営事業	自 45	自 45	0	
ふれ愛♡トーク	自 40	自 40	0	
駅PRボックス活用事業	自 551	自 0	551	新規事業
総合窓口改善事業	自 331	自 0	331	新規事業
事業費合計	2,763	1,881	882	
内 自主企画事業費	2,763	1,881	882	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

配布実績による推計

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談 係
	大塚 和彦	古賀 伸一郎	宮内 寛子

[緑 区 区政推進 課]

予算区分	街づくり推進費 街づくり推進費	性質・ 課題区分	地域まちづくり 水・緑環境保全	事業開始年度	平成20年度
------	--------------------	-------------	--------------------	--------	--------

事業名
みどり！まるごと応援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	<input type="checkbox"/>
中期計画-行政運営	<input type="checkbox"/>
中期計画-財政運営	<input type="checkbox"/>
重点事業	<input type="checkbox"/>
新規・拡充	<input type="checkbox"/>
温暖化対策関連事業	<input type="checkbox"/>

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
13	4

事業評価 書番号	5
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,064					4,064
前年度	3,415					3,415
増△減	649	0	0	0	0	649

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	4,628	4,628	4,833
メリット+一般財源	4,628	4,628	4,833
決 算 事業費	4,064	4,957	3,675
メリット+一般財源	4,064	4,957	3,675

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	4,064	4,064
一般財源	4,064	4,064

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年 月)
無

事業の概要 (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・緑区は、緑被率が市内1位（平成26年度緑被率調査）、田の栽培面積が市内2位（2015年世界農林業センサス）等、緑が豊かで農業の盛んな地域です。地場野菜、直売所等、緑区における農業の魅力が区民に広く発信することで地産地消を進め、農業の振興を図ります。また、自然や歴史等、緑区の魅力が区民とともに見つけ、広く発信していく取組を進めます。 ・地域のつながりづくり及び郊外部のよりよいまちづくりを目的として、地域団体が空き地や空き家等に花壇・菜園の設置や地域活動の拠点となる施設を設置する事業を実施します。
---------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消条例の施行を踏まえ、緑区の「農」の魅力を多くの方に周知し、地産地消の取組を進め、区内の活性化につなげていく必要があります。 ・将来に残したい緑区の魅力の後世に引き継ぐために、行政と区民が一体となって共に考える機会が必要です。 ・地域の課題解決に向けて、自治会町内会の役割は大きいですが、専門的な知識が必要な場合等、自治会のみでの解決が困難な場合があります。 ・多くの地域で地域活動の担い手の育成が課題となっており、空き地・空き家等を活用した地域のつながりづくりの取組を実現したい、との声が上がっています。
----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

地域の課題等の収集手段	8 その他			
-------------	-------	--	--	--

2 運営方針等との関係	令和元年度緑区運営方針「みどりの魅力あふれるまち」
-------------	---------------------------

3 根拠法令・要綱等	横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例 等
------------	------------------------------

【実績の推移・今後見込み】
 ■とれたてみどり地産地消推進事業
 <実施経過>
 27年度：「農」の魅力動画配信、農家と飲食店等との交流会の実施、区民まつりにおける地産地消の取組啓発
 28年度：とれたてみどり緑区直売所マップの更新、とれたてみどり(緑区農情報)Facebookページ開設、
 「農」の魅力動画配信、農家と飲食店等との交流会の実施、区民まつりにおける地産地消の取組啓発
 29年度：地産地消講座の実施、「農」の魅力番組制作・放映及び動画配信、農家と飲食店等との交流会の実施、
 区民まつりにおける地産地消の取組啓発
 30年度：地産地消講座の実施、「農」の魅力番組制作・放映及び動画配信、農家と飲食店等との交流会の実施、
 区民まつりにおける地産地消の取組啓発、地産地消みどりグルメスタンプラリーの実施
 元年度：地産地消講座の実施、「農」の魅力番組制作・放映及び動画配信、農家と飲食店等との交流会の実施、
 区民まつりにおける地産地消の取組啓発、地産地消みどりグルメスタンプラリーの実施

<区内におけるよこはま地産地消サポート店登録数実績>
 27年度：10件 28年度：10件 29年度：13件 30年度：14件 元年度：14件

■みどり！魅力再発見事業
 緑区フォトコンテスト応募数 27年度：386、28年度：474、29年度：424、30年度～元年度：休止（今昔写真展の準備および開催）
 緑区遺産登録数 26年度：4件、27年度：4件、28年度：1件、29年度：9件、30年度：0件、元年度：1件（予定）

■地域のつながり施設設置事業（28年度まで民有地における地域花壇・菜園設置モデル事業）

<事業の利用申請件数>

- 27年度：地域団体からの地域菜園利用申請 1件（鴨居地区）
- 28年度：27年度に利用していた地域団体からの継続利用申請 1件（鴨居地区）
- 29年度：27年度に利用していた地域団体からの継続利用申請 1件（鴨居地区）
- 30年度：27年度に利用していた地域団体からの継続利用申請 1件（鴨居地区）
新規の地域団体から建物の利用申請 1件（三保地区）
- 元年度：27年度に利用していた地域団体からの継続利用申請 1件（鴨居地区）
30年度に利用していた地域団体からの継続利用申請 1件（三保地区）

■緑区専門家派遣事業

<事業の利用申請件数>

- 28年度：まちづくりグループからの申請 1件
 - 29年度・30年度・元年度：連合自治会内の専門委員会からの申請 1件
- ※いずれも みどり地域まちづくり推進事業で執行

【実施内容】

■とれたてみどり地産地消推進事業

- (1) 緑区庁舎の直売所で地元農産物を販売します。
- (2) 緑区の「農」や「地産地消」の取組をPRするための番組を制作・放映及び、緑区WEB等で配信します。
- (3) 「農」に関する情報発信や飲食店と農家との交流会等を実施します。
- (4) 広報よこはま緑区版での地産地消コラムの連載緑区WEBや「とれたてみどり（緑区農情報）」Facebookページ等で情報を発信します。
- (5) JAと共催で緑区庁舎で地場野菜の直売会を実施します。
- (6) 区内の畑での収穫体験や地産地消の料理教室等を実施します。

■みどり！魅力再発見事業

- (1) フォトアーカイブ事業
緑区役所で収集した写真を広く区民に利用できるよう整理し、保存・活用します（オープンデータ化）。
- (2) 緑区遺産事業
区内にある歴史的な地域資源として登録された「緑区遺産」の登録証を発行し、地域の活動団体等による保全・活用を支援します。
緑区遺産を巡るウォーキングイベントの実施し、事業PRを拡大します。

■地域のつながり施設設置事業

空き地・空き家等を対象に地域のつながりづくりに寄与する施設の設置を支援します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
とれたてみどり地産地消推進事業	自 2,730	自 2,552	178	地産地消みどりグルメスタンプラリーのチラシ及び地産地消みどりグルメガイドマップ、とれたてみどり緑区直売所マップ印刷による増
みどり！魅力再発見事業	自 1,087	自 621	466	フォトアーカイブ事業の実施のため
地域のつながり施設設置事業	自 247	自 242	5	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	4,064	3,415	649	
内 自主企画事業費	4,064	3,415	649	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整/広報相談 係
	大塚 和彦	高群 敦子 古賀 伸一郎	井上 史夏 宮内 寛子

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成27年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名
みどり地域まちづくり推進事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
21	3

事業評価書番号	7
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,928					2,928
前年度	1,928					1,928
増△減	1,000	0	0	0	0	1,000

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 事業費	2,140	2,433	1,730
算 メリット+一般財源	2,140	2,433	1,730
決 事業費	1,507	1,749	1,526
算 メリット+一般財源	1,507	1,749	1,526

歳出	令和3年度	令和4年度
予 事業費	2,000	2,000
算 一般財源	2,000	2,000

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年 月)
無

事業の概要(目的)	平成26年12月に改定した「緑区まちづくり計画」の具体化を進めるため、地域住民のまちづくり支援を実施します
-----------	-------------------------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等

少子高齢化等を背景に、住民主体のまちづくりの機運が高まるとともに、まちづくり活動に対する区の支援がより一層求められていることから取組を継続的に実施していく必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望		
-------------	------------	-------------	--	--

2 運営方針等との関係

令和元年度運営方針「3 みどりの魅力あふれるまち」

3 根拠法令・要綱等

横浜市地域まちづくり推進条例、横浜市地域まちづくり支援制度要綱
緑区専門家派遣事業実施要綱

【実績の推移・今後見込み】

横浜市都市計画マスタープラン 緑区プラン 「緑区まちづくり計画」	平成14年1月 平成14年12月 平成25年3月 平成26年12月 令和元年度	横浜市都市計画マスタープラン(全市プラン)の策定 横浜市都市計画マスタープラン緑区プラン「緑区まちづくり計画」の策定 横浜市都市計画マスタープラン(全市プラン)の改定 横浜市都市計画マスタープラン緑区プラン「緑区まちづくり計画」の改定 横浜市都市計画マスタープラン緑区プラン「緑区まちづくり計画」の進捗状況の点検および現状の課題抽出調査予定
山下地区のまちづくり	平成26年4月 平成28年度 平成29年度 平成30年度 令和元年度	山下地区安全・安心まちづくりプラン認定 乗合システムの実施に向けた検討・山下地区ささえあいバス実証運行開始 山下地区ささえあいバス実証運行2年目 山下地区ささえあいバス実証運行3年目、本格運行に向けた検討 小山町のまちの将来像検討、地権者リストの作成 まちづくりプランの推進及び改定検討、山下地区ささえあいバス運行支援 小山町のまちの将来像検討
東本郷地区まちづくり	平成18年4月 平成28年度 平成29年度 平成30年度 令和元年度	東本郷地区まちづくりアクションプラン策定 アクションプラン追加版作成、鶴見川花壇の再生 アクションプラン追加版策定、鶴見川河川敷にベンチ新設(2か所) まちづくりプランの推進(小型バスの利便性向上、歩行者空間改善) まちづくりプランの推進(小型バスの利便性向上、歩行者空間改善)
十日市場地区まちづくり	平成28年度 平成29年度 平成30年度 令和元年度	十日市場駅周辺活性化協議会発足、バリアフリー基本構想の策定 十日市場駅前広場で「いちば」6回開催、まちづくりスクール2回開催 十日市場駅前広場で「いちば」6回開催、まちづくりスクール1回開催 十日市場駅前広場で「いちば」6回開催、まちづくりスクール1回開催 十日市場駅前広場で「いちば」6回、まちづくりスクール1回開催予定
専門家派遣	平成28年度 平成29年度 平成30年度 令和元年度	霧が丘「ひまわりの会」 竹山池活性化推進委員会 霧が丘6丁目まちづくり推進会 霧が丘6丁目まちづくり推進会(通算2年目)
案内サイン	平成28年度 平成29年度 平成30年度 令和元年度	改修5基 改修7基 改修7基 改修5基程度予定

【実施内容】

- ・「横浜市都市計画マスタープラン・緑区プラン」の進捗状況点検から抽出したまちづくりの課題を整理・検討します。
- ・山下地区安全・安心まちづくり協議会による「山下地区ささえあいバス」の本格運行、既存バス路線の利用促進や小山町の課題を考える会による未来に向けたまちの将来像の検討を支援します。
- ・山下地域交流センターの保存に向けた活用検討調査を実施します。
- ・東本郷まちづくり協議会による小型バスの路線延伸に向けた合意形成、歩行者空間改善に向けた検討を支援します。
- ・十日市場駅周辺活性化協議会による「いちば」等の開催を支援します。
- ・その他の新たなまちづくり活動に対して専門家を派遣します。
- ・既存のみどころ案内サインを改修します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
住民主体のまちづくり支援	2,748	1,748	1,000	
			0	
			0	
みどころ案内サイン	180	180	0	
			0	
事業費合計	2,928	1,928	1,000	
内 自主企画事業費	0	0	0	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

区が主体的に支援するまちづくり団体数：6団体、管理しているサイン総数：79箇所

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整 係
	大塚 和彦	高西 悠子	源馬 康祐

(緑 区 - 4)

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	令和2年度
------	---------	---------	---------	--------	-------

事業名	アートによる 緑区の魅力発信事業
-----	---------------------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,500					4,500
前年度	0					0
増△減	4,500	0	0	0	0	4,500

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	0	0	0
メリット+一般財源	0	0	0
決 算 事業費	0	0	0
メリット+一般財源	0	0	0

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	4,500	4,500
一般財源	4,500	4,500

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	区制50周年を契機にさらに魅力あふれるまちを目指し、次世代につなぐまちづくりを進めるため、新たなアートイベントを実施することで、緑区の新たな魅力の発信と地域の活性化につなげます。
-----------	-------------------------------------------------------------------------------------------

(説明)																																														
1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 緑区の景観は本市全体にとっても大きな魅力であるにも関わらず、観光や文化においては十分に活用されていません。緑区の魅力を横浜の魅力として区内外に広く発信し、緑区への関心を高め集客を図ることで、地域活性化につなげる必要があります。 平成27～30年度に実施した「スマートイルミネーションみどり」では、来場者アンケートで9割以上の方が次年度の実施を希望する等好評を得ていました。 区運営方針に基づき、緑区の魅力を市内外に発信する必要があるほか、子どもたち及び次世代に向けた事業に取り組む必要があります。 																																													
地域の課題等の収集手段	8 その他																																													
2 運営方針等との関係	令和元年度緑区運営方針「3 みどりの魅力あふれるまち」																																													
3 根拠法令・要綱等																																														
【実績の推移・今後見込み】																																														
令和2年度：新たなアートイベントの企画、実施 令和3年度～：アートイベントの継続実施																																														
【実施内容】																																														
■新たなアートイベントの実施 実施時期：令和2年9月下旬～12月頃（2日間程度） 会場候補：未定 概要：スマートイルミネーション（平成24～30年度）、緑区制50周年記念事業「わらアート」（令和元年度）の実施を踏まえ、新たなアートイベントの実施により、緑区の魅力（自然、農、歴史、街並み等）を発信し、区の基本方針である「次世代（子どもたち）」がアートに触れる機会を創出するとともに、地域の活性化につなげます。																																														
【事業費の内訳】																																														
<table border="1"> <tr> <th>細目事業名</th> <th>本年度</th> <th>前年度</th> <th>差引</th> <th>説明</th> </tr> <tr> <td>アートによる緑区の魅力発信事業</td> <td>4,500</td> <td></td> <td>4,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td>4,500</td> <td>0</td> <td>4,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内 自主企画事業費</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>訳 重点事業</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </table>	細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	アートによる緑区の魅力発信事業	4,500		4,500					0					0					0					0		事業費合計	4,500	0	4,500		内 自主企画事業費	0	0	0		訳 重点事業	0	0	0		
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明																																										
アートによる緑区の魅力発信事業	4,500		4,500																																											
			0																																											
			0																																											
			0																																											
			0																																											
事業費合計	4,500	0	4,500																																											
内 自主企画事業費	0	0	0																																											
訳 重点事業	0	0	0																																											
【根拠とするデータ等】																																														

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 大塚 和彦	係長 高群 敦子	企画調整 係 田村 健太郎
--------------------	-------------	-------------	------------------

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	水・緑環境保全	事業開始年度	令和2年度
------	---------	---------	---------	--------	-------

事業名	みどり環境行動啓発事業
-----	-------------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,000					1,000
前年度	0					0
増△減	1,000	0	0	0	0	1,000

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	0	0	0
メリット+一般財源	0	0	0
決 算 事業費	0	0	0
メリット+一般財源	0	0	0

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	400	400
一般財源	400	400

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	緑区の豊かな自然を次の世代に引き継ぐため、「生物多様性の保全」や「地球温暖化対策」の視点を取り入れた啓発事業を実施します。
-----------	---------------------------------------------------------------

(説明)				
1 地域の課題等	「プラスチック問題」については、店頭啓発等によりワンウェイ・プラスチック削減PRを始めているが、まだ浸透はしていない。また、区役所内でも、ワンウェイ・プラスチックの削減にはこれまで取り組んでいなかった。緑区の豊かな自然を次の世代に引き継ぐためには、「生物多様性」の意義についても啓発する必要がある。			
地域の課題等の収集手段				
2 運営方針等との関係	令和元年度緑区運営方針「みどりの魅力あふれるまち」			
3 根拠法令・要綱等				
【実績の推移・今後見込み】				
<過去の主な温暖化対策啓発実績> ※別事業予算で過年度に実施 令和元年度 広報よこはま(区版11月)、店頭啓発(ワンウェイ・プラスチック削減、ゴミ減量化、温暖化対策) 平成30年度 子どもアドベンチャーでの「ゴミ分別、燃料電池自動車」の啓発、店頭啓発(ゴミ減量化、温暖化対策) 平成29年度 子どもアドベンチャーでの「ゴミ分別、燃料電池自動車」の啓発、店頭啓発(ゴミ減量化、温暖化対策)、バスツアー 平成28年度 エコ講座、店頭啓発(ゴミ減量化、温暖化対策)、バスツアー、夏まつりでのうちわ配布				
【実施内容】				
1 生物多様性保全と地球温暖化対策に関する啓発イベント 基調講演、NPO法人等と連携したミニ講座等を開催します。				
2 ワンウェイ・プラスチック削減に向けた啓発活動 区役所野菜直売所等での「削減キャンペーン」を実施します。(景品付き)				
3 温暖化対策などの店頭啓発を実施します。(4回程度)				
【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
啓発イベント	550		550	基調講演、ミニ講座等
ワンウェイ・プラスチック削減啓発	420		420	削減キャンペーン用スタンプカード、景品の作成
温暖化対策などの店頭啓発	30		30	ボードアンケート用の消耗品
事業費合計	1,000	0	1,000	
内 自主企画事業費	0	0	0	
内 重点事業	0	0	0	
【根拠とするデータ等】				

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	区政推進課長	係長	企画調整係長	企画調整係
		大塚 和彦		高群 敦子	山下 育子

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	商店街振興	事業開始年度	平成19年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名	緑区商店街振興事業 【前年度：足を運んでみよう！ 商店街事業】
-----	---------------------------------------

特記事項	<input type="checkbox"/> 中期計画-38の政策 <input type="checkbox"/> 中期計画-行政運営 <input type="checkbox"/> 中期計画-財政運営 <input type="checkbox"/> 重点事業 <input checked="" type="checkbox"/> 新規・拡充 <input type="checkbox"/> 温暖化対策関連事業
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	10
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,810					2,810
前年度	1,308					1,308
増△減	1,502	0	0	0	0	1,502

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	264	500	500	予算	事業費	2,810	2,810
	メリット+一般財源	264	500	500		一般財源	2,810	2,810
決算	事業費	300	679	801	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	300	679	801				

事業の概要(目的)	消費者と商店街の顔の見える関係づくりを支援し、大型店にはない商店ならではの“魅力”を地域の消費者に再発見してもらうことで、集客力を高め地元商店街の活性化につなげていくことを目的としています。
-----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

(説明)	
1 地域の課題等	大規模店舗の進出や経営者の高齢化などにより地域商店は減少傾向にあり、区内では店舗数減少により平成24年に十日市場商店連合会が解散し、また平成29年度に十日市場大通り商店会が解散するなどの状況があります。その中で大規模店舗にはない、区内7商店街が持つ地域に根ざしたきめ細やかなサービスやこだわりの商品を広く消費者に伝え、消費者が地元商店街に足を運んで商店街の魅力に再認識してもらう事への支援が求められています。
地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和元年度緑区運営方針「3 みどりの魅力あふれるまち」
3 根拠法令・要綱等	横浜市商店街の活性化に関する条例

【実施内容】

1 商店街ポイントラリー
消費者が直接区内の商店街を巡り買い物することで地元商店街の魅力を「再発見」してもらい、また、新たな消費者を呼び込み、地元商店街の活性化につなげていくことを目的として、区役所と区内商店街が一体となって「緑区商店街ポイントラリー」を開催します。
・開催時期(予定)：令和2年10月

【実績の推移・今後見込み】					
	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度予測	令和2年度見込み
第1回	54人	141人	287人	1,200人	1,300人
第2回	55人	157人			

2 商店街Special Week(商店街PR)
区内7商店街にキャッチコピーと魅力ある写真をちりばめたポスターを制作し、区役所、駅等公共スペースに掲出し、PRします。3か月ごとに各商店街を紹介し、掲示期間に広報よこはま緑区版や神奈川新聞にコラム記事を掲載します。(2年間で7商店街を一巡)

【事業費の内訳】					
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	
緑区商店街ポイントラリー	自 1,421	自 1,308	113		
商店街Special Week(商店街PR)	自 1,389	自 0	1,389		
			0		
			0		
事業費合計	2,810	1,308	1,502		
内 自主企画事業費	2,810	1,308	1,502		
重点事業	0	0	0		

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩岡 敏文	橋本 道子	武田 雄美

[緑 区 土木事務所 課]

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	土木関係・公園	事業開始年度	平成30年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名	身近で親しみやすい水辺環境づくり事業
-----	--------------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--------------------------------------------------------------------

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	11
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,600					1,600
前年度	2,340					2,340
増△減	△ 740	0	0	0	0	△ 740

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費			2,000
メリット+一般財源			2,000
決 算 事業費			1,730
メリット+一般財源			1,730

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	0	0
一般財源	0	0

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	梅田川及び岩川沿いに、沿線マップ、洪水ハザードマップ等を掲載した看板の設置を進め、防災意識や親水性アップを図ります。また、休憩施設を設けるなど、水辺環境の快適な利用を促進します。
-----------	-------------------------------------------------------------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等

○沿線案内看板の設置
防災意識の向上に資するため洪水ハザードマップを積極的に区民の方々へ広報する必要があります。また、水辺愛護会からは生物多様性や河川空間の美化の啓発を行うために情報発信を行いたいとの要望が挙げられています。

○休憩施設の整備
梅田川沿線の河川管理用通路は、ウォーキング等、地域の方々に日々活用されています。一方で、休憩施設の設置が実施できておらず、水辺環境を快適にご利用いただくため河川沿いにベンチ等を用意した休憩スペースの確保が必要です。

地域の課題等の収集手段	2 陳情	7 関係団体からの要望		
-------------	------	-------------	--	--

2 運営方針等との関係

みどりの魅力あふれるまち

3 根拠法令・要綱等

【実績の推移・今後見込み】

平成30年度；梅田川一本橋めだか広場周辺に休憩施設を整備、沿線案内看板のデザイン案の検討
令和元年度；梅田川河川管理用通路沿いに案内看板の設置（9箇所）
令和2年度；岩川河川管理用通路沿いに案内看板の設置（6箇所）

【実施内容】

令和2年度については、以下の内容を実施する。
○岩川沿いに案内看板の設置
岩川合流点から連台橋までの河川区域沿い6箇所に案内看板を設置する。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
《親しまれる水辺環境づくり事業》			0	
案内看板設置（梅田川）		自 2,340	△ 2,340	
案内看板設置（岩川）	自 1,600		1,600	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	1,600	2,340	△ 740	
内 自主企画事業費	1,600	2,340	△ 740	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 川崎 哲治	係長 谷口 丞	下水道・公園 係 吉田 利典
--------------------	-------------	------------	-------------------

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	土木関係・公園	事業開始年度	平成30年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名	魅力ある公園づくり事業
-----	-------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--------------------------------------------------------------------

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	12
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	450					450
前年度	450					450
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費			900
メリット+一般財源			900
決 算 事業費			810
メリット+一般財源			810

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	450	450
一般財源	450	450

方針に関する決裁 種別()
 有:件名()、日付(年月)
 (無)

事業の概要(目的)	各公園の特色や遊具等、公園の魅力をホームページや紙媒体で発信することで、公園利用の促進を図ります。
-----------	---------------------------------------------------

(説明)																																														
1 地域の課題等	<p>○緑区公園マップの更新</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑区の公園や公園愛護会の取組、地域防災拠点などを紹介した緑区公園マップを平成26年度に作成しました。 身近な公園については、日常的に活用されるだけでなくいっとき避難場所として活用されることも多いことから、公園の追加や遊具の更新情報など、マップを継続的に更新する必要があります。 <p>○緑区内の公園案内ホームページ作成・更新</p> <ul style="list-style-type: none"> 魅力ある公園づくりの一環として、市民の方々へ公園の位置や特色ある複合遊具、各公園に設置されている遊具の対象年齢等の情報を積極的に発信し、利用者の利便性の向上を図る必要があります。 																																													
地域の課題等の収集手段	2 陳情 7 関係団体からの要望																																													
2 運営方針等との関係	みどりの魅力あふれるまち																																													
3 根拠法令・要綱等																																														
【実績の推移・今後見込み】																																														
平成30年度 緑区公園紹介ホームページ作成【済】 令和元年度 緑区公園マップの更新・印刷増刷(10,000部) 市ホームページ仕様変更への対応 令和2年度 緑区公園マップの増刷(10,000部)																																														
【実施内容】																																														
令和2年度については、転入者が気軽に公園を利用し、より多くの区民に公園の魅力を知ってもらえるよう公園マップを増刷するとともに、ホームページの利用状況を踏まえた更新を行います。																																														
【事業費の内訳】																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>細目事業名</th> <th>本年度</th> <th>前年度</th> <th>差引</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>《魅力ある公園づくり事業》</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公園マップの増刷</td> <td>自 450</td> <td>自 450</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td>450</td> <td>450</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内 自主企画事業費</td> <td>450</td> <td>450</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内 重点事業</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	《魅力ある公園づくり事業》			0		公園マップの増刷	自 450	自 450	0					0					0					0		事業費合計	450	450	0		内 自主企画事業費	450	450	0		内 重点事業	0	0	0		
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明																																										
《魅力ある公園づくり事業》			0																																											
公園マップの増刷	自 450	自 450	0																																											
			0																																											
			0																																											
			0																																											
事業費合計	450	450	0																																											
内 自主企画事業費	450	450	0																																											
内 重点事業	0	0	0																																											
【根拠とするデータ等】																																														

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 川崎 哲治	係長 谷口 丞	下水道・公園 係 成定 希
--------------------	----------	---------	---------------

[緑 区 土木事務所 課]

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	土木関係・公園	事業開始年度	令和2年度
------	---------	---------	---------	--------	-------

事業名	花と緑あふれるふるさと緑区事業
-----	-----------------

特記事項	<input type="checkbox"/> 中期計画-38の政策 <input type="checkbox"/> 中期計画-行政運営 <input type="checkbox"/> 中期計画-財政運営 <input type="checkbox"/> 重点事業 <input type="checkbox"/> 新規・拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 温暖化対策関連事業
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,500					2,500
前年度	0					0
増△減	2,500	0	0	0	0	2,500

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算 事業費			
決算 事業費			
予算 メリット+一般財源			
決算 メリット+一般財源			

歳出	令和3年度	令和4年度
予算 事業費	4,500	4,500
決算 一般財源	4,500	4,500

方針に関する決裁 種別()
 有:件名()、日付(年月)
 無

事業の概要(目的)	緑区制50周年を記念して実施したふるさと緑区植樹事業を継承し、道路や公園などの緑化を進めるとともに、区民を対象とした花苗講座を開催することにより緑に対する意識を高め、花と緑あふれるまちづくりを目指します。
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等

・ハマサポ等の活動によって植樹樹への花植えが活発に行われていますが、局所的な活動に留まっています。このような活動を区全体に展開して花と緑あふれるまちづくりを盛り上げることが求められています。
 ・腐朽や老木化に伴う街路樹の伐採後、空き樹のままとなっている箇所が多く存在しており、補植等の要望が寄せられています。
 ・公園愛護会では、会員の高齢化、担い手不足等の課題となっております。愛護会組織の人材育成に取組み、愛護会の活性化を図ることが求められています。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	2 陳情	7 関係団体からの要望
-------------	------------	------	-------------

2 運営方針等との関係 みどりの魅力あふれるまち

3 根拠法令・要綱等

【実績の推移・今後見込み】

・令和2年度 街路樹現況調査の実施(空樹の調査、区民要望の把握・整理、補植計画の検討)
 「花と緑のサポーター養成講座」の開校(春、夏、秋、冬、事後講座の計5回)
 ・令和3年度～ 空樹の補植の実施
 「花と緑のサポーター養成講座」、「花と緑のサポーター養成講座(上級編)」の開催

【実施内容】

・植樹樹の状況(空樹の状況など)や地域要望をまとめ、今後の活用方法を検討します。そして、ハマサポ等と連携して空樹を中心に積極的に植樹を行っていき、地域に親しまれる緑化を推進していきます。
 ・ボランティア団体や区民を対象とした「花と緑のサポーター養成講座」を開催し、1年をとおして花作りの基礎から管理方法を学び、花全体の知識を身に付け、花と緑のサポーター隊として緑区で活動できる人材を育成します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
街路樹現況調査	自 940		940	新規事業
花と緑のサポーター養成講	自 1,560		1,560	新規事業
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	2,500	0	2,500	
内 自主企画事業費	2,500	0	2,500	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 川崎 哲治	係長 岩峪 輝 谷口 丞	下水道・公園 係 下田 直輝 渡辺 翔太
--------------------	-------------	--------------------	----------------------------

[緑 区 土木事務所 課]

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	土木関係・公園	事業開始年度	令和2年度
------	---------	---------	---------	--------	-------

事業名	生物多様性保全に向けた遊水地等の環境整備事業
-----	------------------------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,000					5,000
前年度	0					0
増△減	5,000	0	0	0	0	5,000

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算 事業費			
決算 事業費			
予算 メリット+一般財源			
決算 メリット+一般財源			

歳出	令和3年度	令和4年度
予算 事業費	3,000	2,000
決算 一般財源	3,000	2,000

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	豊かな自然の残る梅田川遊水地等において、行政と市民団体等が連携して在来種の保全、外来種の駆除を行うとともに、生物多様性に配慮した施策を展開し、区民の環境保全の意識を高めて緑区の魅力の再発見・発信を行います。
-----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等

・梅田川流域では、ホトケドジョウ等の在来種が確認されるなど水辺環境が改善してきている一方、梅田川遊水地等でコイやカミツキカメ等の外来種が確認されており、生態系への悪影響が懸念されています。「かいぼり」と外来種の駆除による環境保全を望む提案や要望が継続的に挙げられています。

・水辺愛護会、ボランティア団体では、高齢化による担い手不足が深刻化しつつあります。区民の環境への意識を高めて愛護会・ボランティア団体の連携を強化して活性化を図る必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	2 陳情	7 関係団体からの要望
-------------	------------	------	-------------

2 運営方針等との関係	みどりの魅力あふれるまち
3 根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】

令和2年度 ・多様な組織・団体との関係・連携づくり及び「かいぼり」、生き物観察会の企画(委託)
・「かいぼり」の実施(梅田川遊水地、12月)

令和3年度 ・生き物観察会の実施(雨水調整池のビオトープ:2回、公園:2回)

令和4年度 ・パンフレットの作成・配布(SNS等による情報発信を検討します)

【実施内容】

令和2年度は、区内の多様な組織・団体(ボランティア団体(梅田川水辺の楽校、新治市民の森など)、小学校、有識者、行政機関など)の連携づくりを行い、「かいぼり」と生き物観察会(水生生物、昆虫、鳥等)の企画検討を行います。

また、12月頃に各組織・団体と協力して梅田川遊水地で「かいぼり」を行い、外来種の駆除を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
連携づくり及び企画検討	3,500		3,500	新規事業
「かいぼり」の運営	1,500		1,500	新規事業
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	5,000	0	5,000	
内 自主企画事業費	5,000	0	5,000	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 川崎 哲治	係長 谷口 丞	下水道・公園 係 長谷川 堯弘 稲垣 紀明
--------------------	-------------	------------	-----------------------------

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	環境美化	事業開始年度	平成20年度
------	-----------	---------	------	--------	--------

事業名	3 R 推進事業
-----	----------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業 ○
------	----------------------------------------------------------------------

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	13
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,147					2,147
前年度	2,146					2,146
増△減	1	0	0	0	0	1

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	2,597	2,052	1,850	予算	事業費	2,147	2,147
	メリット+一般財源	2,597	2,052	1,850		一般財源	2,147	2,147
決算	事業費	2,418	1,971	1,844	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	2,418	1,971	1,844	有:件名()、日付(年月)			

事業の概要(目的)	横浜市一般廃棄物処理基本計画「ヨコハマ3R夢プラン」に基づく3R行動の普及・浸透に向け、地域住民との協働や関係部署との連携を通じた取組を行うことで、ごみと資源の削減を図ります。
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------

(説明)	
1 地域の課題等	平成23年1月に策定された「ヨコハマ3R夢プラン」を推進するため、啓発等の取組を行った結果、ごみと資源の総量は減少傾向にあります。区民から排出される燃やすごみの中には、生ごみの割合が高いほか、資源化可能な古紙やプラスチック製容器包装などがいまだに多く含まれています。また、昨今、問題視されているプラスチックごみによる海洋汚染などについても対策及び啓発が必要となっています。3Rの中で重要なリデュースの取組として「手つかず食品」や「使い捨てプラスチック」の削減に力を入れて周知していきます。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
2 運営方針等との関係	令和元年度緑区運営方針「3 みどりの魅力あふれるまち」における「環境行動の推進」
3 根拠法令・要綱等	廃棄物の適正な処理及び清掃に関する法律、緑区リユース食器利用促進補助事業補助金

【実績の推移・今後見込み】

1 みどり環境行動推進協議会の運営
ごみと資源の総量の年度別推移

(1) 総量 単位：トン

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
総量	39,947	39,617	39,153	38,731	38,153
燃やすごみ	26,798	26,646	26,608	26,372	26,027
その他	13,149	12,971	12,545	12,359	12,126

(2) 原単位 単位：グラム/(人・日)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度目標
総量	610	600	592	586	576	573
燃やすごみ	409	404	402	399	393	393
その他	201	196	190	187	183	180

2 3Rの普及・啓発

(1) 保育園・幼稚園及び小・中学校等を対象とした「出前講座」実施回数

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
幼稚園・保育園	9	10	6	9	9
小・中学校	3	6	4	2	2
その他	3	2	1	0	0

(2) 大型商業施設等における店頭啓発実績(30年度)

月日	場所	参加人数	備考
6月28日	中山とっきゅう	170人	区政推進課と合同実施
7月31日	アピタ長津田店	230人	区政推進課・生活衛生課と合同実施
11月15日	ダイエー鴨居店	200人	区政推進課と合同実施
11月21日	ダイエー十日市場店	250人	区政推進課と合同実施

(3) 各種イベントや地域まつり等での啓発活動（通年）

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
イベント数	9	12	12	14	15
参加人数	1,660	3,129	1,817	2,997	4,324

(4) 区独自の広報印刷物の印刷

- ・緑区版「ごみと資源の出し方・分け方」の印刷
 - ・ごみと資源の収集曜日一覧の印刷
- 区役所窓口及び資源循環局緑事務所に配架、戸籍課転入者セットに同封

(5) 外国人への啓発

- ・広報印刷物の外国語翻訳
- 緑区版「ごみと資源の分け方・出し方」（英語・中国語・ハンデル・ポルトガル語）
- ごみと資源の収集曜日一覧（英語、中国語、ハンデル、スペイン語、ポルトガル語）

(参考) 緑区における外国人人口（元年6月末現在：緑区上位10か国）

	総数	中国	インド	フィリピン	韓国・朝鮮	ベトナム	ブラジル	インドネシア	タイ	台湾	米国	その他
緑区	4,052	1,060	979	416	348	260	155	128	74	58	50	524
横浜市	101,039	40,420	2,931	8,551	13,565	7,746	2,601	1,263	1,681	2,874	2,636	16,771

(6) 自治会の回覧や広報区版などを活用した啓発

- ・広報よこはま3R特集記事
- ・緑ECO通信特別号の自治会班回覧（年2回）、衣類のリユースチラシの自治会班回覧（年2回）

(7) 不用品交換ボード「ゆずります・ゆずってください」の利用実績

項目	28年度	29年度	30年度
ゆずります	120件(70件譲渡)	108件(53件譲渡)	97件(57件譲渡)
ゆずってください	24件(5件譲渡)	28件(10件譲渡)	19件(7件譲渡)

(8) 衣類「子ども服」のリユースを開催（年2回）

29年度		30年度		元年度	
月日	参加人数	月日	参加人数	月日	参加人数
6月3日	227人	6月2日	271人	6月1日	316人
11月18日	228人	11月17日	304人		

3 リユース食器の利用促進（通年）

項目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
レンタル	3件	3件	4件	3件	3件
購入	1件	2件	0	0	0

【実施内容】

- みどり環境行動推進協議会の運営
総会の実施、みどり環境行動推進者表彰（5月）
- 3Rの普及・啓発
 - (1) 小中学校・保育園等への出前講座の開催（通年）
 - (2) 店頭キャンペーン（年4回）
 - (3) 各種イベントや地域のまつり等での啓発（通年）
 - (4) 自治会の回覧や広報区版などを活用した啓発（通年）
緑ECO通信を年2回班回覧、衣類のリユースチラシを年2回班回覧
 - (5) 不用品交換ボード「ゆずります・ゆずってください」の運営・管理（通年）
 - (6) 衣類(子ども服)のリユースの実施（年2回）
- リユース食器の利用促進
リユース食器利用促進補助金の交付（通年）

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
みどり環境行動推進協議会の運営	自 137	自 130	7	
3Rの普及・啓発	自 1,950	自 1,956	△ 6	
リユース食器の利用促進	自 60	自 60	0	
			0	
			0	
事業費合計	2,147	2,146	1	
内 自主企画事業費	2,147	2,146	1	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	資源化推進担当 係
	高橋 英明	清水 貞男	太田 哲哉

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	環境美化	事業開始年度	平成20年度
------	-----------	---------	------	--------	--------

事業名	きれいなまちづくり事業
-----	-------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--------------------------------------------------------------------

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	14
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,318					2,318
前年度	2,151					2,151
増△減	167	0	0	0	0	167

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	4,736	4,570	2,572
メリット+一般財源	4,736	4,570	2,572
決 算 事業費	4,611	4,539	2,463
メリット+一般財源	4,611	4,539	2,463

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	2,318	2,318
一般財源	2,318	2,318

方針に関する決裁 種別()
 有:件名()、日付(年月)
 無

事業の概要(目的)	不法投棄、空き缶及び吸殻等の散乱(ポイ捨て)を防止し、地域住民と協働して清潔できれいなまちづくりを推進するため、沿道緑化、ポイ捨て禁止キャンペーンの実施及び清掃活動支援等を行います。
-----------	---------------------------------------------------------------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等
 地域と協働で清掃活動や沿道緑化等の取組を引き続き行い、ごみを捨てにくい環境を整備していくことが必要です。不法投棄やポイ捨てについて様々な啓発を行っているものの、依然として後を絶たず、違法行為でもあるため、関係行政機関とも連携し、監視及び防止に向けた取組を進めていきます。また、ごみを燃やす時発生する二酸化炭素による地球温暖化対策として地域支援で配布している清掃ごみ袋を植物由来原料のごみ袋へ転換するなどの対策を講じていく必要があります。

地域の課題等の収集手段 1 日常の窓口対応等

2 運営方針等との関係 令和元年度緑区運営方針「3 みどりの魅力あふれるまち」における「環境行動の推進」

3 根拠法令・要綱等 横浜市空き缶等及び吸殻等の散乱の防止に関する条例
 横浜市廃棄物等の減量化・資源化及び適正処理等に関する条例

【実績の推移・今後見込み】

(1) 花いっぱい活動事業 (単位：株)

	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	5月	11月	5月	11月	5月	11月予定
霧が丘連合自治会	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
中山中学校区	1,600	1,600	1,700	1,700	1,700	1,700
新治中部地区環境事業推進委員	250	150	250	250	250	250
白山グリーンクラブ	400	500	500	500	500	500
十日市場団地連合自治会	500	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
新治西部地区環境事業推進委員	100	100	100	100	100	100
竹山連合自治会	500	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
小計	5,350	6,350	6,550	6,550	6,550	6,550
合計	11,700		13,100		13,100	

(2) 地域ふれあい活動

ア 活動実績	不法投棄処理実績		地域清掃処理実績		
	実施回数	処理量(トン)	実施回数	処理量(t)	袋配布数
29年度	116	4.16	1,098	316.2	19,230
30年度	275	13.13	1,241	256.1	26,050
元年度	21	3.07	179	40.82	13,280

6月末現在

イ 夜間監視パトロール実施地区(パトロールに係る委託費は局で執行)

資源循環局予算対応(1日間)

長津田町(北部斎場付近)9月

ウ 不法投棄監視警報装置の設置

①いぶき野地区(いぶき野83先)

②北八朔農業専用地区(北八朔町218-9)

③北八朔農業専用地区(北八朔町222-14先)

④長津田台農業専用地区(長津田町5216-3)

(3) 駅さわやか活動事業

ア 中山駅周辺早朝清掃・庁舎周辺早朝清掃
 ・中山駅周辺における地域住民・商店街及び事業者による清掃活動(5月、11月)
 ・区職員による庁舎周辺早朝清掃(8月、12月を除く毎月第4金曜日)

イ ポイ捨て禁止キャンペーンの開催実績

29年度	5月26日	6月28日	6月29日	6月30日	11月24日	11月20日
	中山駅 雨天のため中止	長津田駅	鴨居駅	十日市場駅	中山駅	十日市場駅 局と合同実施
30年度	5月25日	6月27日	6月28日	6月29日	11月30日	11月19日
	中山駅	長津田駅	鴨居駅	十日市場駅	中山駅	十日市場駅 局と合同実施
元年度	5月24日	6月26日	6月27日	6月28日	11月30日	11月20日
	中山駅	長津田駅	鴨居駅	十日市場駅	中山駅	十日市場駅 局と合同実施

【実施内容】

- 1 花いっぱい活動
地域住民により春と秋の年2回花苗を植栽し、ポイ捨てされにくい清潔できれいな街づくりを推進しています。
・対象者 植栽の維持管理を行う団体に所属する地域住民（小・中学生を含む）
- 2 地域ふれあい活動
 - ①清掃活動の支援
年間を通じ、定期的に清掃活動を実施している自治会等の団体に対して清掃用品等を提供し、支援していきます。
・対象者 区内において清掃活動を実施している自治会等の団体
 - ②不法投棄取対策
区民や関係機関からの通報や夜間監視パトロールの情報による、不法投棄の防止対策と処理を行います。
- 3 駅さわやか活動
 - ①中山駅周辺早朝清掃
中山駅周辺において、春と秋に地域住民と地域事業者による啓発を含めた清掃活動を行います。
 - ②駅周辺におけるポイ捨て禁止キャンペーンの開催
緑区内のJR4駅周辺で地域住民と地域事業者によるポイ捨て防止に向けた啓発活動を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
花いっぱい活動	自 1,430	自 1,430	0	
地域ふれあい活動	自 495	自 370	125	
ポイ捨て禁止キャンペーン	自 393	自 351	42	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	2,318	2,151	167	
内 自主企画事業費	2,318	2,151	167	
内 訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	資源化推進担当 係
	高橋 英明	清水 貞男	太田 哲哉

[緑 区 地域振興 課]

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名	区民まつり事業
-----	---------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--------------------------------------------------------------------

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	15
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,400					5,400
前年度	4,900					4,900
増△減	500	0	0	0	0	500

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算	4,900	4,900	4,900
メリット+一般財源	4,900	4,900	4,900
決 算	4,900	4,900	4,900
メリット+一般財源	4,900	4,900	4,900

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算	5,400	5,400
一般財源	5,400	5,400

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	平成6年度、緑区内各地で行われている「祭り」を区全体で一本化し、区の取組や区内で活動する団体のPRの場としてスタートし、この間、区民相互の交流の場、区民のふるさとを醸成することを目的としています。
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等	平成6年度に区民まつりが実施され、緑区最大のイベントとして区民に定着しています。また、各種団体関係者の参加が多く得られ、来場者にも好評を得ています。
地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート
2 運営方針等との関係	
3 根拠法令・要綱等	緑区民まつり補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】
 開催日：令和2年10月18日（日）（予定）
 会 場：県立四季の森公園
 主 催：緑区民まつり実行委員会

【実施内容】
 令和2年度実施予定内容
 (1) 区民参加によるステージイベント、展示PR、模擬店、こども動物園等
 (2) 「健康づくり月間」事業の一部として、区民まつり会場内に「健康づくりエリア」を設けて、健康に関する診断、展示等
 (3) 環境に配慮した取り組み・推進
 <平成30年度実績>
 ・来場者数 約30,000人
 ・ステージ出演 12団体（内訳：各地区連合推薦9団体、公募3団体）
 ・出店 67団体（内訳：出店59団体、サブイベント8団体）

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
区民まつり実行委員会補助	自 4,900	自 4,900	0	
区民まつりPR	自 500		500	広報PRを区の直接執行で行うため
			0	
			0	
			0	
事業費合計	5,400	4,900	500	
内 自主企画事業費	5,400	4,900	500	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 岩岡 敏文	係長 橋本 道子	地域活動係 松山 利幸
--------------------	----------	----------	-------------

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名	地域振興事業
-----	--------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--------------------------------------------------------------------

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	16
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,189					2,189
前年度	1,935					1,935
増△減	254	0	0	0	0	254

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算 事業費	1,498	1,935	1,935
メリット+一般財源	1,498	1,935	1,935
決算 事業費	1,876	1,918	1,943
メリット+一般財源	1,876	1,918	1,943

歳出	令和3年度	令和4年度
予算 事業費	2,189	2,189
一般財源	2,189	2,189

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)

事業の概要(目的)	市及び区の出組に理解、協力をいただいている自治会の会長に対し敬意を表するために感謝会を開催するとともに、自治会活動の支援を行い、日頃から地域との良好な関係を構築します。
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等
自治会は、市・区政の運営に大きく貢献しており、地域においても住民相互の親睦や環境の整備などの活動を通して、良好な地域社会の維持・形成に大きな役割を担っています。こうした自治会活動の担い手不足、自治会加入者の減少が課題です。(現在の自治会加入率は73.7%(平成31年4月1日現在))

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-------------

2 運営方針等との関係
自治会との良好な関係づくりは、令和元年度緑区運営方針「安全・安心なまち」「いきいきと暮らせるまち」「みどりの魅力あふれるまち」の土台となるものです。

3 根拠法令・要綱等
自治会町内会長永年在職者表彰要綱
自治会町内会に対する依頼業務の取り扱いについて(H17.4.1副市長依命通達)
横浜市地域の絆をはぐくみ、地域で支えあう社会の構築を促進する条例(H23.3)

【実績の推移・今後見込み】
これまでの災害を教訓として、地域のネットワーク力の重要性が見直されており、自治会活動への関心が高まっています。「横浜市地域の絆をはぐくみ、地域で支えあう社会の構築を促進する条例」が制定され、市民が主体的に行う地域活動を促進することで、地域で支えあう社会の構築を促進することが求められています。

【実施内容】
1 感謝会の開催
自治会長(地区連合自治会長)永年在職者を顕彰します。在職5年の会長に区長から感謝状を贈呈します。
※在職10年以上の表彰については、市長主催(市民局事業)で表彰式を開催します。
(参考 5年区長感謝10名、10年市長感謝2名、15年市長表彰1名、20年市長表彰1名、30年市長表彰1名)
2 回覧物等配送業務
市・区から自治会に回覧等を依頼するにあたり、地域の負担を軽減するため月ごとに取りまとめ、送付します。
123自治会×11か月(8月は送付なし)
3 自治会加入促進の支援
自治会加入に向けたこれまでの画一的な支援だけでなく、その地域の実情に合わせた加入促進を自治会と連携し進めていきます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
感謝会の開催	自 1,076	自 915	161	表彰人数・委託料増による増
回覧物等配送業務	自 970	自 877	93	委託料増による増
自治会加入促進の支援	自 143	自 143	0	
			0	
事業費合計	2,189	1,935	254	
内 自主企画事業費	2,189	1,935	254	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 岩岡 敏文	係長 橋本 道子	地域活動係 塩田 奈央
--------------------	-------------	-------------	----------------

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防災	事業開始年度	平成18年度
------	-------------	---------	----	--------	--------

事業名	災害に強いまちづくり事業
-----	--------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
34	1、3
35	1～6

事業評価書番号	18
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	7,567					7,567
前年度	7,410					7,410
増△減	157	0	0	0	0	157

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	8,242	7,400	7,410
メリット+一般財源	8,242	7,400	7,410
決 算 事業費	8,831	7,767	7,566
メリット+一般財源	8,831	7,767	7,566

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	7,410	7,410
一般財源	7,410	7,410

方針に関する決裁 種別()
 有:件名()、日付(年月)
 無

事業の概要(目的)	災害時における速やかな避難場所の確保、地域防災拠点との連携強化及び防災関連機関との連携強化により、災害に強いまちづくりを区民と協働して推進していきます。
-----------	------------------------------------------------------------------------------

(説明)	
1 地域の課題等	<p>1 東日本大震災や熊本地震、西日本豪雨の発生に伴う課題対応に向けて、発災時における緑区災害対策本部及び防災関係施設の機能を強化する必要があります。</p> <p>2 災害発生時に円滑な応急活動を実施していくには、防災関係機関との連携を強化していく必要があります。</p> <p>3 地域防災力の向上を図る上で核となる小中学生への継続的な啓発を、地域や学校と協力して実施します。特に、区民に身近な危険箇所を覚知してもらうために、ハザードマップ等を用いた啓発を実施する必要があります。</p>
地域の課題等の収集手段	4 地区懇談会 6 区民要望
2 運営方針等との関係	令和元年度緑区運営方針「安全・安心なまち」
3 根拠法令・要綱等	横浜市防災計画「震災対策編」、「風水害等対策編」、「都市災害対策編」、災害対策基本法、緑区防災計画、緑区災害時要援護者支援事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】																					
<table border="1"> <tr> <th>事業名</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> <tr> <td>地域防災拠点訓練参加者</td> <td>6185</td> <td>6400</td> <td>6829</td> <td>6800</td> </tr> <tr> <td>防災講演会参加者</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>380</td> <td>380</td> </tr> <tr> <td>地図ワークショップ参加者</td> <td></td> <td>820</td> <td>644</td> <td>600</td> </tr> </table>	事業名	H28	H29	H30	R1	地域防災拠点訓練参加者	6185	6400	6829	6800	防災講演会参加者	300	300	380	380	地図ワークショップ参加者		820	644	600	<p>協定関係 H27.5創価学会緑文化会館施設の一時避難所 H28.2トーエル 災害時における必要物資等 H31.2みどり養護学校 福祉避難所</p>
事業名	H28	H29	H30	R1																	
地域防災拠点訓練参加者	6185	6400	6829	6800																	
防災講演会参加者	300	300	380	380																	
地図ワークショップ参加者		820	644	600																	

【実施内容】	
1 区本部機能強化事業	<p>(1) 災害時に円滑に行動できるよう、区職員を対象とした防災研修会と区本部訓練を実施します。</p> <p>(2) 区職員に対する普通救命講習を実施し、緊急時における応急救護体制を確保します。</p> <p>(3) 発災時、長時間の災害対策本部体制を確保するため、食料等を購入し計画的な備蓄を実施します。</p> <p>(4) 避難勧告等に速やかに対応できるよう、避難所への持ち出し品等の物品を拡充します。</p> <p>(5) 平成30年度に引き続き地域BWAの整備に伴う情報受伝達ツールを購入します。</p> <p>(6) 発災時に災害ボランティアセンターが確実に機能できるよう、運営にかかる必要な資機材を拡充します。</p>
2 地域防災拠点等強化事業	<p>(1) 地域防災拠点の備蓄品の在庫点検や資機材の保守点検を年2回行い、必要に応じて修繕を行います。</p> <p>(2) 資機材取扱講習を実施します。</p> <p>(3) 鉄道機関や帰宅困難者一時滞在施設と連携し、区役所等防災関係機関との情報共有を図るため、帰宅困難者対策連絡会を開催します。</p>
3 防災ネットワーク事業	<p>(1) 緑区防災ネットワーク委員会を開催します。</p> <p>(2) 区民の危機管理意識の高揚を図るため、防災講演会を開催します。</p> <p>(3) 防災ライセンスネットワーク会員との連絡会を実施し、併せて防災備蓄庫資機材取扱要領を確認します。</p> <p>(4) 防災ライセンスネットワーク会員に対する救命講習を実施し、地域防災拠点での応急救護体制や訓練指導體制を確保します。</p> <p>(5) 緑区社会福祉協議会が実施する、災害ボランティアネットワーク会員に対する研修や訓練を支援します。</p>

4 減災行動啓発事業

- (1) 地図システムにより生活圏を抽出した地図を作成し、それを活用したワークショップを開催することで、将来の地域防災活動の担い手として期待される小学生や地域住民を対象とした啓発事業を実施します。
- (2) 区内の小中学校の生徒や地域住民を対象に、防災講話や防災・減災研修を実施します。
- (3) 地域防災拠点や福祉避難所等を対象としたDIG・HUG訓練等を実施します。
- (4) 小学生向けの夏休み防災自由研究を開催します。

5 災害時要援護者支援事業補助金事業

災害時に自力避難が困難な要援護者を円滑かつ確実に避難させるため、要援護者支援事業を行う地域防災拠点や自治会(町の防災組織)等に対して補助金を交付します。

6 災害医療活動対策事業(福祉保健課)

医療関係者等を講師として招へいし、災害時医療の実践的な研修、訓練を行います。
また、医療救護隊の体制を整備します。
保健活動グループについて、平常時から啓発媒体等を準備するとともに、災害時の拠点巡回、保健福祉的トリアージ訓練を実施します。

7 霧の里防犯防災活動センター運営費

8 体感型アトラクション事業

親子などを対象として、楽しみながら防災・減災を学べる体験型防災アトラクションを新規で実施し、家族での防災・減災啓発を実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
区本部機能強化事業	重 1,655	重 2,040	△ 385	備蓄食料移管等による減
地域防災拠点等強化事業	重 2,084	重 2,464	△ 380	資機材更新による減
防災ネットワーク事業	重 527	重 487	40	事業終了に伴う減
減災行動啓発事業	重 532	重 850	△ 318	データ作成完了による減
緑区防災計画「風水害編」の修正	重 200	重 0	200	修正のための増
災害時要援護者支援事業補助金事業	重 400	重 400	0	
災害時医療活動対策事業	重 1,033	重 1,033	0	
霧の里防犯防災活動センター運営費	重 136	重 136	0	
体感型アトラクション事業	重 1,000	0	1,000	新規防災啓発事業
事業費合計	7,567	7,410	157	
内 自主企画事業費	7,567	7,410	157	
訳 重点事業	7,567	7,410	157	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務 係
	山田 源太	伊藤 亮太	秋山 勇也

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防犯	事業開始年度	平成16年度
------	-------------	---------	----	--------	--------

事業名	安全・安心まちづくり推進事業
-----	----------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	33
主な施策番号	5

事業評価書番号	19
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,967					1,967
前年度	1,760					1,760
増△減	207	0	0	0	0	207

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	1,430	1,450	1,430
メリット+一般財源	1,430	1,450	1,430
決 算 事業費	1,430	1,535	1,426
メリット+一般財源	1,430	1,535	1,426

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	1,967	1,967
一般財源	1,967	1,967

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
(無)

事業の概要(目的)	緑区を安全で安心して暮らせる街にするため、区内関係団体で組織する「緑区安全・安心まちづくり推進協議会」を運営し、地域で自主的な防犯活動に取り組む自治会等の活動を支援します。
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等

防犯に関する地域の関心は高く、住みやすいまち・犯罪のないまちを目指して、警察等関係機関との連携のもと、自治会による自主的な防犯パトロール活動等を支援する必要があります。また、近年継続して発生し、社会的関心も高まっている「振り込め詐欺」の被害に対策を講じる必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	------------	--------	-------------

2 運営方針等との関係 令和元年度緑区運営方針「1 安全・安心なまち」

3 根拠法令・要綱等 緑区安全・安心まちづくり推進協議会会則
緑区安全・安心まちづくり推進協議会活動助成金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】	<防犯グッズ提供実績 団体数・提供数(延べ数)>	<緑区における振り込め詐欺発生状況>																		
	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>団体数</th> <th>個数</th> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>121団体</td> <td>1,970個</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>102団体</td> <td>1,556個</td> </tr> </table>		団体数	個数	平成30年度	121団体	1,970個	平成29年度	102団体	1,556個	<table border="1"> <tr> <th>緑区</th> <th>発生件数</th> <th>被害金額</th> </tr> <tr> <td>R1(1~8月)</td> <td>58件</td> <td>約6,907万円</td> </tr> <tr> <td>前年同期比</td> <td>25件増</td> <td>約954万円減</td> </tr> </table>	緑区	発生件数	被害金額	R1(1~8月)	58件	約6,907万円	前年同期比	25件増	約954万円減
	団体数	個数																		
平成30年度	121団体	1,970個																		
平成29年度	102団体	1,556個																		
緑区	発生件数	被害金額																		
R1(1~8月)	58件	約6,907万円																		
前年同期比	25件増	約954万円減																		

【実施内容】

- 緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営(防犯グッズの配布、防犯講座の開催等)
- 振り込め詐欺被害防止(対策機器の配布)
- 情報提供・啓発の充実(緑区防犯情報メール、緑区・振り込め詐欺被害防止情報発信拠点)

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営	自 1,320	自 1,320	0	
防犯リーダー養成講座	自 0	自 110	△ 110	
子どもの安全・安心	自 0	自 330	△ 330	
振り込め詐欺被害防止	自 647	自 0	647	
			0	
			0	
事業費合計	1,967	1,760	207	
内 自主企画事業費	1,967	1,760	207	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】
令和元年度横浜市民意識調査
今後、充実すべき公共サービス 【防犯対策】 44項目中3位

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 岩岡 敏文	係長 矢野口 直久	地域力推進担当 係 江口 浩平
--------------------	----------	-----------	-----------------

[緑 区 地域振興 課]

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	交通安全	事業開始年度	平成6年度
------	-------------	---------	------	--------	-------

事業名	交通安全対策事業	特記事項	中期計画-38の政策	中期計画-38の政策	事業評価書 番号 20
			政策番号 主な施策番号		

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,802					2,802
前年度	2,696					2,696
増△減	106	0	0	0	0	106

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	2,764	2,740	2,700	予算	事業費	2,802	2,802
	メリット+一般財源	2,764	2,740	2,700		一般財源	2,802	2,802
決算	事業費	2,761	2,737	2,665	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	2,761	2,737	2,665	有:件名()、日付(年月)			

事業の概要(目的)	交通事故のない安全で安心な住みよいまちを目指すため、年間を通して広く交通安全に向けた啓発活動を実施します。
-----------	-------------------------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等

区内の交通事故は、発生件数、死者数、負傷者数ともに減少傾向にあるが、引き続き警察署・安全協会など関係団体と協力して啓発活動を実施し、より一層交通事故減少に向けた事業を展開していきます。
 放置自転車対策においては、引き続き放置監視員を配置し、放置自転車等をなくし、快適な駅前空間を確保していきます。
 高齢者の交通事故の防止を目的に、区内の老人クラブにおいて交通安全教室を開催する機会を増やすとともに、機会を捉えて運転免許証の返納を啓発していきます。また学校と連携して自転車マナーアップを強化することで、より安全で安心なまちづくりを行っていきます。

地域の課題等の収集手段 7 関係団体からの要望

2 運営方針等との関係 令和元年度緑区運営方針「1 安全・安心なまち」

3 根拠法令・要綱等 交通安全対策基本法、横浜市交通安全対策会議条例、緑区交通安全対策協議会会則、緑区交通安全功労者表彰要綱、緑区スクールゾーン推進組織補助金交付要綱、交通安全シルバーリーダー活動要綱、緑区交通安全シルバーリーダー連絡協議会会則

【実績の推移・今後見込み】
 緑区内の交通事故の推移

年 別	発生件数	死者数	負傷者数
平成30年	447	3	523
平成29年	489	6	570
平成28年	447	1	580

放置自転車等の撤去台数(自転車・オートバイの合計数)

駅 名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
鴨居駅	276	312	430
中山駅	183	253	323
十日市場駅	91	99	138
長津田駅	84	145	164

【実施内容】

- 緑区交通安全対策協議会の運営
総会、幹事会の開催、功労者表彰等
- 交通安全運動推進
各季交通安全運動の実施、交通安全緑区民大会の実施、自転車交通安全の啓発(マナーアップ)
- 交通安全教育・対策
 - 高齢者・児童他交通安全教育・対策
交通安全シルバーリーダー研修、高齢者向け交通安全教育の実施、民間事業者と連携した高校生対象の自転車安全運転講習・自転車保険の加入促進
 - スクールゾーン対策
スクールゾーン協議会補助金、電柱巻標識、路面標示、あんしんカラーベルトの新設、補修
- 放置自転車対策
 - 自転車等放置防止対策協議会の運営(協議会、クリーンキャンペーンの開催)
協議会の開催、クリーンキャンペーンの実施
 - 放置監視員の配置
4駅への放置監視員の配置
※平成27年度から道路局予算にて施行

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
緑区交通安全対策協議会の運営	84	84	0	
交通安全運動推進	644	538	106	
交通安全教育・対策	1,931	1,931	0	
放置自転車対策	143	143	0	
			0	
			0	
事業費合計	2,802	2,696	106	
内 自主企画事業費	2,802	2,696	106	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩岡 敏文	橋本 道子	武田 雄美

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費 地域コミュニティ費 地域コミュニティ費	性質・ 課題区 分	生涯学習 国際交流 地域コミュニティ	事業開始年度	平成18年度
------	-----------------------------------------	-----------------	--------------------------	--------	--------

事業名	市民活動パワーアップ支援事業
-----	----------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	33
主な施策番号	2

事業評価 書番号	21
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,572					3,572
前年度	2,872					2,872
増△減	700	0	0	0	0	700

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	2,622	2,553	2,868
メリット+一般財源	2,622	2,553	2,868
決 算 事業費	2,421	2,595	2,654
メリット+一般財源	2,421	2,595	2,654

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	2,572	2,572
一般財源	2,572	2,572

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要 (目的)	<ul style="list-style-type: none"> 区民が地域活動・生涯学習を行うための基盤整備として、市民活動支援センター運営委員会と協働で、市民協働の相談窓口、情報提供、担い手の発掘・育成を行うとともに、生き生きと交流できる居場所づくりや活動団体間及び緑区地域施設間の連携を促進します。 パソコン等に関する地域住民の関心を高め、IT普及の推進に寄与すること及び、ITを有効活用することで地域住民の交流と地域コミュニティを促進し、これを担う人材を育成できる環境づくりを支援します。
---------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等	<p>・地域活動を担う人材の高齢化・固定化、交流の場や活動団体間の連携不足が地域活動の活性化を妨げています。市民活動支援センターにおいて、市民が中心になり行政と協働で、自主的に研修会、講習会、交流会等を企画・運営していますが、地域活動入門講座や市民活動セミナー、サロン、交流事業の充実を図り、活動の担い手の発掘・養成が急務です。</p> <p>・パソコンをはじめIT機器、インターネットの進展はめざましく、中高年を中心に区民のパソコン技術習得や相談要望は依然根強いものがあります。このニーズに応えるため、NPOボランティア団体MICSの協力を得て、市民活動支援センターで「パソコン相談常設コーナー」を開設していますが、ニーズの多様化に対応する体制や地域での講習会の開催が望まれています。</p> <p>・地域の方々と協働による地域づくりを進めるため、生涯学習・市民活動の拠点として、情報提供、相談・調整などの中間支援機能の強化を進めるため、地域施設間連携会議の推進やOpen!みどりーむの開催、みどりーむネクストの提案、事業実施を進めていきます。</p> <p>・外国人登録者数が増加しているなか、生活等に係る相談窓口が少ないため、国際交流部会における日本語ボランティアの負担が増加しています。また、地域の方々が外国人と触れ合う機会が少なく、外国人コミュニティと地域のコミュニティの融合が進まない現状にあります。</p>
----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望	8 その他
-------------	------------	-----------	-------------	-------

2 運営方針等との関係	令和元年度緑区運営方針「3みどりの魅力あふれるまち」
-------------	----------------------------

3 根拠法令・要綱等	横浜市市民協働条例、緑区市民活動支援センター要綱、緑区生涯学級実施要領、ぱそこんひろば@みどり事業補助金交付要綱
------------	----------------------------------------------------------

【実績の推移・今後見込み】						
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度見込
講座参加者数	499	647	701	1,348	948	1,000
学級延べ参加者数	694	629	497	540	398	500
交流事業参加者数	2,944	3,584	3,165	3,729	3,537	3,500

【パソコンひろば@みどり事業】						
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度見込
めだかの学校	855人	976人	957人	962人	910	950人
めだか塾	216人	172人	144人	124人	112	150人
IT講習会(受講者)	197人	166人	147人	146人	118	150人

- 【実施内容】
- 市民活動セミナー等（区民と協働で講座の企画、運営を行います）
 - 市民活動セミナー
 - 防災・減災講座
 - 地域福祉セミナー
 - ちょっと先生の夏休みこども体験講座
 - 部会研究会
 - 保育ボランティアの謝金
 - 市民活動交流会（登録団体、活動団体等の交流、新たな人材発掘、地域交流の場の提供など）
 - 市民活動交流会
 - サロンふらっとの開催
 - Open!みどりーむ
 - みどりーむまつりの開催
 - ちょっと先生の体験講座
 - 地域の国際交流（外国人と地域のコミュニティの融合を図ります）
 - 日本語ボランティア養成講座、外国につながる人の交流（文化、活動、日本語）、ウエルカムキットの作成
 - 多文化共生の推進にむけた区内実態調査

- 4 生涯学級事業（区民との協働事業による講座等の開催）
①横浜線ものがたり②自然を楽しむ講座③イキイキおかあさん④地域デビュー講座⑤地域活動支援講座 など
- 5 緑区内地域施設間連携
施設間連携を推進するための、連携会議の開催や研究会、連携事業を進めます。
- 6 みどりーむネクスト
みどりーむ開設10周年を契機に発足した、未来のみどりーむを考える組織として、Open!みどりーむの実施、新たな取組の検討・実施を進めます。
- 7 ばそこんひろば@みどり事業
緑区内のIT発展、地域コミュニティづくりを進めるため、パソコン相談やパソコン講習会を開催する団体に補助金を交付します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
市民活動セミナー等の開催	自 460	自 460	0	
市民活動団体交流事業	自 500	自 500	0	
地域の国際交流事業	自 1,145	自 145	1,000	新規事業
生涯学級事業	自 470	自 470	0	
施設間連携	自 50	自 350	△ 300	スタンプラリー事業終了
パソコン相談コーナーの運営	自 788	自 788	0	
I T講習会の開催	自 159	自 159	0	
事業費合計	3,572	2,872	700	
内 自主企画事業費	3,572	2,872	700	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援 係
	岩岡 敏文	伊藤 慎吾	岡田 明子

[緑 区 地域振興 課]

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名	緑・芸術文化事業
-----	----------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	22
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,611					3,611
前年度	2,523					2,523
増△減	1,088	0	0	0	0	1,088

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	1,776	1,423	1,923	予算	事業費	1,811	1,811
	メリット+一般財源	1,776	1,423	1,923		一般財源	1,811	1,811
決算	事業費	1,738	1,369	1,887	方針に関する決裁種別() 有:件名()、日付(年月) (無)			
	メリット+一般財源	1,738	1,369	1,887				

事業の概要(目的)	文化活動に関わる機会の提供と文化活動に携わる人材の発掘・交流を図るとともに、創造性の発揮を促し、緑区内の文化事業の活性化を図ります。
-----------	--------------------------------------------------------------------

(説明)	
1 地域の課題等	<p>・継続した文化活動はありますが、新たな活動者や新しいアート活動が表出する場所や機会が少ない状況です。</p> <p>・平成25年10月に開館した緑区民文化センターと、区役所、緑公会堂等が連携して事業を行い、互いのノウハウを生かし文化振興を進める必要があります。</p> <p>・平成28年5月にリニューアルオープンした区庁舎イベントスペースを活用することにより、区民の文化事業への取り組みを支援します。</p> <p>・文化芸術振興に関して、庁内各課及び局の取組との連動を意識しながら事業を企画・実施していく必要があります。</p>
地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和元年度緑区運営方針「3 みどりの魅力あふれるまち」
3 根拠法令・要綱等	緑・芸術祭事業実施要綱、緑・芸術祭事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度見込み
実施・支援事業数	18	31	31	34	35

- 【実施内容】
- 地域文化振興
 - 緑・芸術祭事業(参加・鑑賞機会の提供)
 - 一般公募部門参加団体の募集・審査及び事業広報や経費一部助成等の支援
 - 共催事業の実施(「野外アート展」創造と森の声2020)、「緑区民音楽祭ふれあいコンサート」、「緑区コーラスのつどい」)
 - 区庁舎1Fイベントスペースを活用した区民文化振興

ロビーコンサート(年4回程度/緑区民文化センター等と共同開催)、サークルミニギャラリー(年4回程度/区内美術・展示系文化団体を公募)
 - 交流と人材育成
 - 文化芸術の活動者並びに活動を支える人材の育成交流のため、イベントスペースにおける文化イベントを公募(年4回程度)
 - 緑区民文化センター、緑公会堂と連携した、区内文化活動団体に対する幅広い舞台技術レベルアップ講座の開催
 - アートによるオリパラ機運醸成

美術を専攻する地域学生の「スポーツ」をテーマにしたアート作品を地下鉄グリーンライン車輻内に掲示することにより、区内芸術文化の推進とオリンピック・パラリンピックの機運醸成を図る

期間:令和2年6~7月(1か月間) 掲出場所:グリーンライン車内広告スペース(1編成)

参考:地下鉄中山駅乗車人員 5,700,486人(平成30年度)

【事業費の内訳】					
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	
地域文化振興	自 1,510	自 2,410	△ 900	区制50周年記念事業終了	
交流と人材育成	自 301	自 113	188	新規講座による増	
文化芸術によるオリパラ機運醸成	自 1,800	0	1,800	新規アート事業による増	
事業費合計	3,611	2,523	1,088		
内 自主企画事業費	3,611	2,523	1,088		
内 重点事業	0	0	0		

【根拠とするデータ等】
各事業アンケート結果等

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援係
	岩岡 敏文	伊藤 慎吾	三樹 睦月

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成17年度
------	---------------	---------	---------	--------	--------

事業名	みどりスポーツ振興事業
-----	-------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	7
主な施策番号	2

事業評価書番号	23
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,795					1,795
前年度	1,981					1,981
増△減	△ 186	0	0	0	0	△ 186

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	3,237	3,899	3,617
メリット+一般財源	3,237	3,899	3,617
決 算 事業費	3,599	3,915	3,569
メリット+一般財源	3,599	3,915	3,569

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	1,795	1,795
一般財源	1,795	1,795

方針に関する決裁 種別()
 有:件名()、日付(年月)
 無

事業の概要(目的)	区民が主体となって運営するスポーツ振興団体やスポーツ振興イベントの支援を行い、また、区民が気軽にスポーツ文化に親しむことを通じて、より健康で豊かな暮らしができる環境づくりを進めます。
-----------	---------------------------------------------------------------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等

・横浜市体育協会が毎年実施している成人を対象とした「横浜市民スポーツ意識調査報告書」(以下、「調査」とする。)では、運動実施の状況を見ると、50歳代以上に比べて特に40歳代の運動実施率が低い傾向にあり、それ以下も低い状況にあります。また、運動実施の希望について見ると、就労をしている層においては、そもそも運動の「実施希望」がない層が過半数以上存在しています。一方で、緑区内における各スポーツ団体の構成員状況を見ると、やはり40歳代以下の者は少ない状況にあり本調査とも同様の傾向がみられ、団体の維持や各役割の継承の観点で課題が存在しています。

・本調査における運動の「実施希望なし」の層に対しては、個人的なアプローチよりも企業などの単位でアプローチをかける事の有効性が検討されており、区役所としてのスポーツ振興においても、これまで十分な連携を図ってこなかった地域の民間企業などにもアプローチし、今後連携を深めていく必要が生じています。

・区として実施するイベントについては、各種スポーツの体験会等をしばしば開催してきましたが、単一の種目体験では集客性が低かったり、そもそもその種目に興味のある層のみが集まるイベントでしかなかったりと、スポーツ振興としての裾野の広がりが見出しにくい状況にありました。そのことから、今後の事業実施においては、他の事業等とも積極的に連携を深め、スポーツプラスαで、相乗的に楽しめる企画であったり、より広がりのあるイベント内容を検討し、事業の費用対効果の観点からも集客性を高める必要が求められています。

・令和元年度においてはラグビーワールドカップが、2年度においては東京2020オリンピック・パラリンピックが終了することから、それらの大会が実施されたことによって認識されたスポーツ文化の社会的な価値、本市としての成果を、緑区内においても継承していくことが求められており、その価値を認識し、次世代に向けて高めていけるような事業展開が必要となっています。

・緑区体育協会など、スポーツ振興について行政と共にその役割を担っていただく地域スポーツ団体においては、区民がスポーツに親しむ機会を継続して提供していくためにも必要不可欠な存在となっています。しかしながら、各団体の事務局機能等について、区役所が補助的に担う部分が多い現状もあり、それぞれの独立性をより高め、また新たな担い手を各団体で発掘・育成していけるような側面的支援が求められています。

地域の課題等の収集手段	8 その他
-------------	-------

2 運営方針等との関係	令和元年度 緑区制運営方針「3 みどりの魅力あふれるまち」
-------------	-------------------------------

3 根拠法令・要綱等	スポーツ基本法、緑区体育協会事業補助金交付要綱、みどりスポーツフェスティバル事業補助金交付要綱、横浜市スポーツ推進計画、ラグビーワールドカップ 2019 TM 東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた横浜ビジョン
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【実績の推移・今後見込み】

○緑区体育協会 加盟団体(15加盟団体、3関連団体)により、区民参加の事業を開催。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
大会及び講習会の実施回数	122回	155回	155回	162回	159回予定	150回程度
へ別主 延参な べ加種 者目	野球	9,698人	9,041人	10,403人	10,563人	-
	サッカー	8,910人	9,150人	8,450人	7,900人	-
	テニス	2,785人	1,949人	2,453人	2,298人	-
	剣道	1,659人	2,431人	2,257人	2,286人	-

○みどりスポーツフェスティバル

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
みどりスポーツフェスティバル	559人参加	639人参加	777人参加	686人参加	680人参加	680人目標

○オリンピック・パラリンピック推進事業(※令和元年度までは、ラグビーW杯・オリンピック・パラリンピック推進事業)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(予定)	令和2年度～
内容	①池谷幸雄氏による体操教室(H28.2.27開催80人参加)	①パラリンピック種目体験会(H29.1.21開催78人参加) ②海堀あゆみ氏によるサッカー教室(H29.2.4開催135人参加)	①ウィルチェアーラグビー体験イベント(H29.12.2開催41人参加) ②スポーツライミング体験イベント(H30.1.21開催333人参加) ③スポーツライミング体験&スポーツキッズひろば(H30.3.18開催約1,000人参加)	①ラグビー体験イベント(H30.12.2開催60人参加) ②人権啓発講演会(H30.12.4開催303人参加) ③バドミントンレクチャー(H31.1.12開催74人参加)	①読書×スポーツあたまとからだでラグビーを学ぶ(R1.9.7開催33人参加) ②人権啓発講演会(R1.12.4開催276人参加) ③フェンシング体験イベント(R1.12.7開催151人参加)	①東京1964パラリンピック映像上映イベント(R2.5-6月頃、50人程度目標) ②オリンピック種目体験イベント(R2.5-6月頃 100人目標)

【実施内容】

- 緑区体育協会事業
15種目等の専門部・体育振興部が通年で講習会や区民大会を実施し、初心者から競技者まで幅広く参加できるスポーツ事業を行います。また、従来の競技スポーツ振興に加え、協会本体の自立化及び地域スポーツ振興の取組への活動を支援します。
- みどりスポーツフェスティバル(6月予定)
世代を問わず気軽に参加できるスポーツレクリエーションを軸に、幅広い年齢層が楽しめる運動機会を提供するとともに、健康増進の取組を啓発します。また、会場を予定する緑スポーツセンター指定管理者の協力を得てキッズスペースを設置するなど、統合型のスポーツイベントとして開催します。主催は、平成27年度よりスポーツ推進委員、さわやかスポーツ普及委員会、体育協会の3者により実施しており、また地域プロスポーツチームや企業などの協賛も得つつ、令和2年度も引き続き、内容の充実をさせ、参加いただく市民の満足増進を図ります。
- オリンピック・パラリンピック推進事業
令和2年度は、東京オリンピック・パラリンピックの開催を迎える年であることから、この機を活かし、区民がトップアスリートや新たなスポーツ競技に触れる機会の提供、また、スポーツを通じた多様性ある社会の実現を目指した取組を年2回程度実施し、大会への市民の関心を高めるとともに開催に向けた機運の醸成を図ります。イベント等の開催にあたっては、他課や民間企業等とも積極的に連携した事業実施を目指します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
みどりスポーツフェスティバル	自 300	自 385	△ 85	区制50周年記念対応終了による減
オリンピック・パラリンピック推進事業	自 619	自 670	△ 51	参加記念品等精査に伴う減
みどりスポーツ振興事業運営	自 126	自 126	0	
緑区体育協会事業	自 750	自 800	△ 50	区体協50周年記念対応終了による減
			0	
			0	
事業費合計	1,795	1,981	△ 186	
内 自主企画事業費	1,795	1,981	△ 186	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

横浜市民スポーツ意識調査(31.3月、30.3月)、事業実績(27-30年度)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援 係
	岩岡 敏文	伊藤 慎吾	奥平 幸太

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費 文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	生涯学習 文化・スポーツ	事業開始年度	平成27年度
------	--------------------------------	---------	-----------------	--------	--------

事業名	読書活動推進事業
-----	----------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--------------------------------------------------------------------

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	24
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	500					500
前年度	300					300
増△減	200	0	0	0	0	200

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算	300	300	300
決 算	300	300	300
増△減	0	0	0

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算	300	300
決 算	300	300

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月日)

事業の概要(目的)	子どもから大人までより多くの方が読書に親しみ、楽しむことができる環境を整え、区役所・図書館・学校・地域・市民利用施設が連携するとともに、読書関連ボランティアの育成や支援により、緑区内の読書活動の推進と活性化を図ります。
-----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等

- ・緑区における読書活動は、図書館のほか、学校・保育施設・市民利用施設・福祉施設等の施設や団体でも行われており、身近な読書資源の活用を推進する必要があります。
- ・世代や興味、生活スタイルに合わせて、読書への興味をより高める機会を提供する必要があります。
- ・読み聞かせやおはなし会など、幼児から読書に親しむ環境を整えるために協力者の育成が必要です。
- ・読書活動の拠点である図書館と他の市民利用施設やそこで活動している読書ボランティアとの連携を強化することが必要です。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望		
-------------	------------	-------------	--	--

2 運営方針等との関係 令和元年度緑区運営方針「3みどりの魅力あふれるまち」

3 根拠法令・要綱等 横浜市民の読書活動の推進に関する条例、緑区読書活動推進目標

【実績の推移・今後見込み】
緑図書館の利用実績

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
貸出利用者数(人)	195,792	197,409	191,621	188,876	185,273
貸出冊数(冊)	597,543	600,471	576,724	563,369	547,566
入館者数(人)	441,110	447,355	435,505	415,206	396,440

【実施内容】

- 1 読書に親しむ機会の提供と啓発【目標1】
 - ・青少年向け講演会、緑図書館25周年記念成人対象の講演会、ビブリオサロン等の開催
 - ・区民まつりにおける読書啓発イベント
 - ・緑図書館の貸出用CDブックの充実
 - ・絵本セット貸出、まちライブラリー、読書資源を紹介する読書まっぷの配布等による広報活動
- 2 読書活動推進連絡会の開催、絵本や読み聞かせネットワーク支援等による区内読書関連施設との連携【目標2】
- 3 読書活動に係る中高生ボランティアの育成【目標3】
- 4 更新した緑区読書活動推進目標の広報活動

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
読書活動推進事業	500	300	200	緑図書館25周年記念事業
事業費合計	500	300	200	
内 自主企画事業費	500	300	200	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】
横浜市立図書館年報、横浜市教育意識調査報告書

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 加藤 光	係長 伊藤 慎吾	生涯学習支援 係 三樹 睦月
--------------------	------------	-------------	-------------------

[緑 区 区政推進 課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	青少年健全育成	事業開始年度	令和2年度
------	----------------	---------	---------	--------	-------

事業名	子どものまちづくりイベント Mini Mini Midori
-----	-----------------------------------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,500					3,500
前年度	0					0
増△減	3,500	0	0	0	0	3,500

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	0	0	0
メリット+一般財源	0	0	0
決 算 事業費	0	0	0
メリット+一般財源	0	0	0

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	3,500	3,500
一般財源	3,500	3,500

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
(無)

事業の概要(目的)	次世代をに担う子どもたちが、まちづくりに携わる楽しさを知るきっかけづくりとして、子ども達によるまちづくりイベントを実施します。
-----------	-----------------------------------------------------------------

(説明)				
1 地域の課題等	令和元年度に、緑区制50周年記念事業実行委員会主催事業として、区内で初めて「子どものまちづくりイベント」が実施されました。 区制50周年記念事業の実施方針「次世代を担う子どもたちが、まちづくりに携わる楽しさを知る」を引き継ぐ事業が求められています。			
地域の課題等の収集手段	8 その他			
2 運営方針等との関係	令和元年度緑区運営方針「みどりの魅力あふれるまち」			
3 根拠法令・要綱等				
【実績の推移・今後見込み】 <実績> 令和元年度 「緑区制50周年記念事業 子どものまちづくりイベント」 子ども実行委員会：公募（H30年12月～）、説明会（H31年1月）、都筑区の子どものまちへ参加（H31年2～3月） 子ども実行委員会（R1年5～8月） 子ども実行委員：38人 イベント参加者数：令和元年8月24日（土）290人、8月25日（日）300人 【実施内容】 1 子ども実行委員会 公募（4月）、子ども実行委員会（6～10月）、イベント本番にまちのリーダーとして活躍（11月頃） 2 子どものまちづくりイベント 開催時期：11月頃 実施期間：2日間 会場：未定 参加者数（想定）：250人×2日間 3 ボランティア募集（随時） 【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
子どものまちづくりイベントの実施	重 3,000	0	3,000	子ども実行委員会支援、イベント企画調整、設営・撤去等
事務費	重 500	0	500	印刷費（ちらし、資料）、郵送費等
事業費合計	3,500	0	3,500	
内 自主企画事業費	3,500	0	3,500	
訳 重点事業	3,500	0	3,500	
【根拠とするデータ等】 R1年度 参加者（子ども）アンケート結果 来年も参加したい：97%（アンケート回収数：74件）				

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	区政推進課長	係長	企画調整係長	企画調整係
		大塚 和彦		高群 敦子	山下 育子

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	青少年健全育成	事業開始年度	平成17年度
------	----------------	---------	---------	--------	--------

事業名	青少年地域サポート事業
-----	-------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
33	1

事業評価書番号	26
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,479					1,479
前年度	859					859
増△減	620	0	0	0	0	620

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算 事業費	3,534	2,776	3,118
メリット+一般財源	3,534	2,776	3,118
決算 事業費	3,337	2,678	3,010
メリット+一般財源	3,337	2,678	3,010

歳出	令和3年度	令和4年度
予算 事業費	1,479	1,479
一般財源	1,479	1,479
方針に関する決裁種別()	有:件名()、日付(年月)	
	無	

事業の概要(目的)	青少年が健やかに育つ環境づくりを目的に、青少年に関するボランティア団体の活動を支援するとともに、区内高校・大学等との連携を深めます。
-----------	--------------------------------------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等	地域コミュニティの希薄化が危惧される中、地域ぐるみで青少年を見守り育てていく必要があります。また、青少年に地域とのつながりを実感し交流できる機会を提供することが求められています。
----------	-------------------------------------------------------------------------------------------

地域の課題等の収集手段	8 その他
-------------	-------

2 運営方針等との関係	令和元年度緑区運営方針「2 いきいき暮らせるまち」
-------------	---------------------------

3 根拠法令・要綱等	神奈川県青少年保護育成条例、緑区青少年活動事業補助金交付要綱、みどりっこ育成活動補助事業実施要綱
------------	--------------------------------------------------

【実績の推移・今後見込み】

1 みどりっこ育成活動支援事業

年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
補助対象事業数	5事業	5事業	4事業	4事業

【実施内容】

- みどりっこ育成活動支援事業
緑区内の団体が行う青少年育成に関する活動に対し補助金を交付し、その活動を支援します。(募集年1回、交付額上限100千円/事業)
- 緑区青少年活動事業
地域の青少年育成力の向上に重要な役割を果たしている団体に補助金を交付し、その活動を支援します。(緑区子ども会連絡協議会、緑区山下地区青少年育成会)
- 青少年地域サポート事業運営費
区内のより良い社会環境の醸成に向けた啓発活動等、地域における青少年健全育成の取組を推進します。また、児童・生徒の地域との交流を推進します。(募集人数上限50人)
- 区内大学と連携した青少年向け体験講座事業【新規】
区内大学と連携し、中学生を主な対象とした体験講座を開催する(年4回程度)。青少年が講座を通じて大学の持つ最先端技術等を体験することで、将来の進路選択に役立つことを目的とする。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
みどりっこ育成活動支援事業	自 306	自 406	△ 100	申請団体の減少
緑区青少年活動事業	自 453	自 453	0	
青少年地域サポート事業運営費	自 198	0	198	新規事業のため
区内大学と連携した青少年向け体験講座事業	自 522	0	522	新規事業のため
事業費合計	1,479	859	620	
内 自主企画事業費	1,479	859	620	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

各活動報告書（みどりっこ育成活動補助金交付団体の活動報告）や、過去実績等

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援 係
	岩岡 敏文	伊藤 慎吾	胡 方旭

[緑 区 こども家庭支援 課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成24年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名
あんしん子育てネットワーク事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
24	4

事業評価書番号	27
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	7,523					7,523
前年度	7,568					7,568
増△減	△ 45	0	0	0	0	△ 45

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算 事業費	7,891	7,480	7,397
メリット+一般財源	7,891	7,480	7,397
決算 事業費	6,904	7,719	6,943
メリット+一般財源	6,904	7,719	6,943

歳出	令和3年度	令和4年度
予算 事業費	7,523	7,523
一般財源	7,523	7,523

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年 月)
無

事業の概要(目的)	子どもの健やかな成長を支援するために、①妊娠期から子育て期までの切れ目のない子育て支援の充実、②地域の人たちの育児支援活動の推進、③区内で行われている様々な子育て支援に関する情報の提供を行います。
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等

子育て世代を取り巻く環境として、少子高齢化や核家族化、共働き世帯の増加、情報化社会の進展によるコミュニケーション方法の多様化などにより、ライフスタイルが変化してきています。こうしたなかで、地域でのつながりの希薄化による子育て世代の孤立化が問題となっており、子育て力の向上と地域の子育てを支える力が必要とされています。健やかな乳幼児期の子育て支援にとどまらず、学齢期・思春期・青少年期までを視野に、それぞれの状況やニーズに合わせた幅広い取組や相談支援システムが求められています。また、身近な地域での見守りと子育て支援に携わる関係者間の連携を深めるとともに、地域への普及啓発が重要となっています。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	8 その他		
-------------	------------	-------	--	--

2 運営方針等との関係	令和元年度緑区運営方針「2 いきいき暮らせるまち」
-------------	---------------------------

3 根拠法令・要綱等	緑区子育て支援活動事業補助金要綱
------------	------------------

【実績の推移・今後見込み】

(1)プレパパ・プレママ教室

年度	26	27	28	29	30
参加延べ数(人)	463人	457人	401人	494人	480人

(2)赤ちゃん教室

年度	26	27	28	29	30
参加延べ数(人)	4,817人	4,319人	3,711人	3,922人	3,634人

(3)歯つつ1歳児

年度	26	27	28	29	30
参加延べ数(人)	484人	532人	476人	504人	511人

(4)ママのハートバランス事業

年度	26	27	28	29	30
個別相談数	28	25	17	26	27
緑区養育支援台帳掲載ケース	276	305	334	351	276
参考					
ファミリーサポートクラス参加世帯数	21	29	26	26	20
ファミリーサポートクラス参加延数(人)	113	127	149	146	117

【実施内容】

1 当事者への支援

- (1)プレパパ・プレママ教室:土曜・日曜に教室を開催し、就労妊婦やこれから父親になる人の参加を促し、地域で同じ子育てをしていく参加者同士の交流の場とするともに育児の知識を提供します。区役所会場12回(増設)実施予定
- (2)赤ちゃん教室:0歳の第1子と保護者及び妊婦を対象に、育児講座を開催します。区内会場14か所の会場各9回 計126回開催

- (3) 歯つらつ1歳児:1歳児と保護者を対象に、歯みがき練習と虫歯予防教室(毎月開催)を実施します。
1日コース(9回実施予定) 2日コース(3回実施予定)
- (4) ママのハートバランス事業:養育者の抱える育児不安などの思いを言葉に出し、養育者自身の気持ちを整理することにより、育児不安の軽減や、心のバランスをとっていくことを目指し、個別相談を実施します。
個別相談 年15回予定 スーパーバイズカンファレンス 年2回予定
- (5) 中学生等キャンパスチャレンジ事業:大学の多様な資源を活用した中学生等の学習・体験の場づくりを行います。

2 子育て支援

- (1) 繁忙期の窓口対応等での見守り保育:繁忙期の窓口や、乳幼児健診、予約制個別相談などでのきょうだい児の見守り保育を実施します。
- (2) 地域での子育て支援活動育成事業:子育てサークルや子育てサロンの活動に助成します。
- (3) みどり子育て支援連絡会:地域の子育て支援のネットワークの充実を目指し、子育て支援活動団体同士の交流、情報交換等を行います。
- (4) 緑区子育て支援者事業:出生数が増加している長津田エリア等に、親子で集い、交流や情報交換ができる場を作ります。

3 情報提供

- (1) 子育て支援情報ホームページ・メールマガジン:区内の子育てイベント等をホームページ「みどりっこひろば」とメールマガジンで発信します。メールマガジン毎月1回配信
- (2) みどり子育て応援ガイドブック:区内の子育て情報をガイドブックに集約し、配布します。
- (3) 子ども・家庭支援相談パンフレット:区内の子育てに関する相談窓口案内をパンフレットに集約し、保育所・幼稚園・小中学校に配布します。
- (4) みどりっこカレンダー:地域の子育て中の家庭に対して、区内の保育・教育施設が地域に開放している行事やサービス等の情報を毎月カレンダー形式で発行し、利用促進を図ります。
(毎月1回 1,000部発行)
- (5) 保育施設のご案内:保育施設の利用を希望される保護者に各施設の情報を提供するため、緑区版の保育施設のご案内を発行します。(5月 2,000部発行 10月 3,000部発行)
- (6) 保育所等利用者説明会・個別相談会:保育施設、幼稚園を中心とした説明会・個別相談会を実施します。(10月 2回)
- (7) 乳幼児健診情報提供:乳幼児健診時に乳幼児健診の内容や子育て情報を伝える映像の内容を更新します。
- (8) 放課後事業情報提供:放課後児童クラブ(学童保育)、放課後キッズクラブについて、事業説明等のチラシを作成します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
プレパパ・プレママ教室	自 596	自 452	144	区役所会場の増による報償費の増
赤ちゃん教室	自 1,530	自 1,478	52	委託料の増
歯つらつ1歳児	自 770	自 770	0	
ママのハートバランス事業	自 402	自 432	△ 30	スーパーバイズ回数の減
中学生等キャンパスチャレンジ事業	自 35	自 35	0	事業統合
繁忙期の窓口対応等での見守り保育	自 621	自 725	△ 104	付替えによる減
地域での子育て支援活動育成事業	自 275	自 436	△ 161	補助団体数の減
みどり子育て支援連絡会	自 49	自 49	0	
緑区子育て支援者事業	自 519	自 502	17	付替えによる増
子育て支援情報ホームページ・メールマガ	自 577	自 550	27	増税に伴う増
みどり子育て応援ガイドブック	自 777	自 777	0	
子ども・家庭支援相談パンフレット	自 126	自 126	0	
みどりっこカレンダー	自 696	自 660	36	増税に伴う増
保育施設のご案内	自 247	自 242	5	増税に伴う増
保育所等利用者説明会・個別相談会	自 103	自 134	△ 31	回数の減
乳幼児健診情報提供	自 100	自 100	0	
放課後事業情報提供	自 100	自 100	0	
			0	
			0	
事業費合計	7,523	7,568	△ 45	
内 自主企画事業費	7,523	7,568	△ 45	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	久保田 淳	山本 美樹 野村 弘毅	高田 智也

[緑 区 子ども家庭支援 課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成17年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名
保育所すこやか子育て支援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
24	3

事業評価書番号	28
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,717		36			2,681
前年度	2,721		36			2,685
増△減	△4	0	0	0	0	△4

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 事業費	2,878	2,043	2,243
算 メリット+一般財源	2,846	2,007	2,207
決 事業費	4,230	2,122	2,033
算 メリット+一般財源	4,202	2,094	2,006

歳出	令和3年度	令和4年度
予 事業費	2,717	2,717
算 一般財源	2,681	2,681

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要 (目的)	緑区の子どもたちに関わる全ての人がつながり、切れ目のない支援を目指して、保育資源ネットワークの構築を進めます。相談が多い離乳期のための「離乳食ランチ交流事業」、乳児期の保護者が気軽に立ち寄り授乳・おむつ替えや育児相談ができる「赤ちゃんの駅事業」などを引き続き実施するとともに、参加者が増加している「あつまれ！みどりっこまつり」を継続することでスタッフ・参加者のネットワークを拡充し、地域の子育て支援を推進します。
------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等	1 : 子育て家庭の育児不安解消に向けて、育児相談や育児講座、園庭開等の事業の必要性が高まっており、地域の子育て支援の拡充と、育児支援実施園の拡充を進めます。 2 : 離乳食に悩む保護者向けの講座実施や、乳幼児連れの保護者が安心して外出できる環境づくりを進めます。 3 : 地域に開かれた保育所となるため、地域の高齢者等と園児との交流を図る事業を進めます。
----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	8 その他		
-------------	------------	-------	--	--

2 運営方針等との関係	令和元年度緑区運営方針「2 いきいき暮らせるまち」
-------------	---------------------------

3 根拠法令・要綱等	
------------	--

【実績の推移・今後見込み】					
・あつまれ！みどりっこまつり					
	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1(目標)
参加者	1,715人	1,634人	1,570人	1,399人	1,000人
・市立保育所保育アドバイザー派遣回数					
	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1(目標)
実施回数	15回	12回	25回	21回	12回
・市立保育所絵本の貸出					
	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1(目標)
貸出数	16,194冊	14,070冊	14,471冊	16,196冊	15,000冊
・世代間交流					
	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1(目標)
交流回数	37回	36回	41回	38回	36回

【実施内容】	
1 ネットワーク事業 (区独自)	
(1) あつまれ！みどりっこまつり	
ア 対象	未就学児と保護者
イ 目的	① 子どもとのかかわり方や遊びを伝え、育児に役立つ内容を提供し家庭の子育て力を高めます。 ② 子育て支援情報を提供し、保育所等が地域の子育て支援を担う施設であることを周知し、支援の充実を図ります。 ③ 市立保育所が区内保育資源※のネットワークの核となり、保育士等がそれぞれの知識や経験を活かし連携することで、保育の質の向上を図ります。 ※保育所・家庭保育福祉員・小規模保育事業・横浜保育室・一般認可外保育施設・幼稚園等
ウ 内容	手作りおもちゃの作成や親子体操等、親子で参加できる育児支援イベントを実施し、保護者が育児に活かせる内容を提供します。
エ 実施方法	令和元年度の50周年記念にて1会場へ集約した方法を踏まえ、令和2年度も1会場で実施します。

- (2) 赤ちゃんの駅事業
乳児期は頻繁に授乳やおむつ替え等が必要であり、保護者は外出を控えがちになるため、市立保育所等に授乳・調乳・おむつ替え・休憩等ができるスペースを設置し地域に開放します。
本事業を実施する施設に共通のシンボルマークの看板等を掲示することで事業の認知度を上げ、来訪した保護者の育児相談も受け付け、保護者の育児不安等へも対応します。
- 2 育児支援事業
- (1) 保育アドバイザー（保育士）派遣
市立保育所の保育士が地域の子育てサークルの活動場所に出向き、地域の親子に育児相談やおもちゃ等を利用し遊びの紹介を行います。
- (2) 絵本の貸出
園庭開放時に地域の親子に絵本を貸出します。
緑区読書活動推進目標を踏まえ、積極的に貸出すとともに、お話を開催するなど親子で本に親しむ機会を増やします。
- (3) 施設開放拡充事業
育児支援センター園（長津田保育園・鴨居保育園）では、週5日園庭開放しており、当該保育園の園児のみならず、地域の育児支援を行っています。現在、育児支援センター園ではない十日市場保育園、竹山保育園においても必要な人員を確保し、週5日の園庭開放を実施します。
- (4) 離乳食ランチ交流事業
離乳期は赤ちゃんの変化が大きく、特に離乳食については赤ちゃんの個人差があるため、相談のニーズが多く存在します。そこで、調理師・保育士が離乳食の説明をしながら実物の離乳食を試食してもらい、調理法の工夫等を伝え、食に関する育児不安の解消につなげるとともに離乳期について理解を深めます。
- 3 地域交流事業
- (1) グリーンカーテン事業
市立保育所等で植物を育て、自然のカーテンを作り地球温暖化に対する子どもたちの意識を育むとともに、収穫物を調理し、食事会に地域の方を招待するなど、地域交流を行います。
- (2) 世代間交流事業
高齢者と園児・地域の未就学児等との交流の機会として伝承遊びや、花苗育成等を行います。
- 4 多言語対応サポート事業
近年増加している、外国語話者からの問い合わせ等に対応するため、自動翻訳機を購入し円滑な対応を図ります。各市立保育所2個ずつ（4園×2個＝8個）、こども家庭支援課窓口にも2個、合計10個の自動翻訳機を設置します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
あつまれ！みどりっこまつり	自 601	重 956	△ 355	委託料の減等
赤ちゃんの駅事業	自 280	重 280	0	
保育アドバイザー派遣	自 20	重 20	0	
絵本貸出	自 280	重 280	0	
施設開放拡充事業	自 634	重 634	0	
離乳食ランチ交流	自 288	重 287	1	
グリーンカーテン事業	自 180	重 180	0	
世代間交流事業	自 84	重 84	0	
多言語対応サポート事業	自 350	重 0	350	新規実施
事業費合計	2,717	2,721	△ 4	
内 自主企画事業費	2,717	2,721	△ 4	
内 重点事業	0	2,721	△ 2,721	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	久保田 淳	野村 弘毅	田中 築

[緑 区 こども家庭支援 課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成19年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名
DV対策・児童虐待防止事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
30	4

事業評価書番号	29
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	645					645
前年度	745					745
増△減	△ 100	0	0	0	0	△ 100

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	2,443	2,455	845
メリット+一般財源	2,443	2,455	845
決 算 事業費	2,413	2,143	610
メリット+一般財源	2,413	2,143	610

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	645	645
一般財源	645	645

方針に関する決裁 種別()
(有)件名()、日付(年月)
(無)

事業の概要 (目的)	DV被害者等の相談は法律にかかわる複雑な案件が多いため、女性福祉に詳しい弁護士による法律相談を行うことで、相談体制の充実を図ります。さらに、DV相談窓口の広報を強化します。あわせて、児童虐待防止に関する職員向け研修等を実施し、複雑かつ多様な対象者への個別支援の技術向上を図ります。
------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等	DVをはじめとする女性の福祉相談は社会的問題であり、DV相談窓口の周知を行っていますが、まだ区役所におけるDV相談窓口の認知が低い状況です。そのためDV相談窓口について、パンフレットの配布やポスター掲示を行うことで、周知を強化します。 平成26年11月に「横浜市子供を虐待から守る条例」が施行されるなど、児童虐待に対する関心の高まりがあり、また支援を要する家庭の数も増加し、家庭状況も多様化し、きめ細やかな対応が求められています。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応 8 その他
2 運営方針等との関係	令和元年度緑区運営方針「2 いきいき暮らせるまち」
3 根拠法令・要綱等	横浜市子供を虐待から守る条例

【実績の推移・今後見込み】

年度	28	29	30
法律相談件数	25	21	22
補助相談員による対応件数	114	134	
(参考)女性福祉相談員件数	226	670	1035

H30年から補助相談員はなし

児童虐待防止啓発事業			
年度	28	29	30
要支援台帳掲載ケース件数	334	351	276

【実施内容】

- DV対策事業
DV問題は、暴力の問題だけでなく、夫婦の離婚や財産分与・子の親権など、法律的な課題を多く含んでいます。このためDV問題に造詣の深い弁護士による法律相談を実施します。◆月1回 年間12回実施
- 児童虐待防止事業

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
DV対策事業	自 404	自 504	△ 100	
児童虐待防止事業	自 241	自 241	0	
			0	
事業費合計	645	745	△ 100	
内 自主企画事業費	645	745	△ 100	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭係
	久保田 淳	山本 美樹	高田 智也

[緑 区 福祉保健 課]

予算区分	地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費	性質・ 課題区 分	その他福祉・保健・衛生 高齢者	事業開始年度	平成18年度
------	------------------------	-----------------	--------------------	--------	--------

事業名	共に支えあう福祉保健の 地域づくり事業
-----	------------------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
14	1

事業評価 書番号	32
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	7,798	0	0	0	0	7,798
前年度	5,414	0	0	0	0	5,414
増△減	2,384	0	0	0	0	2,384

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	3,997	2,536	2,467
メリット+一般財源	3,997	2,536	2,467
決 算 事業費	3,639	2,833	2,390
メリット+一般財源	3,639	2,833	2,390

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	2,180	2,180
一般財源	2,180	2,180

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年 月)
無

事業の概要 (目的)	<p>身近な地域で誰もが安心して暮らし続けられるよう、共に支え合い、つながりのある緑区を目指して、緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」を推進・策定します。併せて、地域が主体的・継続的に課題解決に向けた取組を行うことができるよう、区社会福祉協議会や地域ケアプラザと連携して、区役所内の課を超えた横断的な支援を行います。</p> <p>また、要援護者やひとり暮らし高齢者等に対する地域での支えあいと見守りを充実するため、地域の民生委員・児童委員が定期的に電話や訪問による安否確認及び地域イベント等の情報提供を行います。</p>
---------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等	<p>1 地域福祉保健計画推進策定事業 緑区では、人口減少や少子高齢化、社会情勢・世帯構成の変化に伴い、支援を要する高齢者が増加する一方で、高齢施設の入所可能数に限りがあることで、支援を要する方の生活が地域へ移行していくことが想定されます。また、地域の支え手は、単身世帯の増加や家族形態の変容、「一億総活躍社会」による女性・高齢者の就業により脆弱になることが想定されます。</p> <p>このような社会背景のもとで、つながりを持った支え合える地域を目指し、地域や区社会福祉協議会、地域ケアプラザと連携して、地域福祉保健活動を継続していくこと、必要な取組を拡充していくことが求められています。</p> <p>2 民生委員見守り訪問事業 ひとり暮らし高齢者等は、生活を送るうえで外出の機会が減る傾向にあるため、地域の中で孤立しがちであり、孤独死や所在不明といった問題が発生することがあります。そこで、地域福祉の担い手である民生委員・児童委員が日頃から声かけ等でのコミュニケーションを図り、安否確認や所在確認等を通じて地域での見守りを行うとともに、地域とのつながりを強めることが大切となっています。</p> <p>また、昨年12月一斉改選後に民生委員が多数入れ替わる(定数226名中3分の1程度)予定であり、後任の民生委員が減少する中で、需要が高まる民生委員見守り訪問事業を継続していくことが求められます。したがって、民生委員の充足率の維持・向上と定着化を念頭に置いた環境整備が急務となっています。</p>
----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度	4 地区懇談会	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望
-------------	----------	---------	-----------	-------------

2 運営方針等との関係	令和元年度 緑区運営方針「2 いきいき暮らせるまち」
-------------	----------------------------

3 根拠法令・要綱等	<p>1 社会福祉法第107条、第4期横浜市地域福祉保健計画、第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」、緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」推進策定委員会運営要綱等</p> <p>2 緑区ふれあいあんしん推進事業実施要綱、緑区ふれあいコール事業助成金交付要綱</p>
------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【実績の推移・今後見込み】

1 地域福祉保健計画推進策定事業	<table border="1"> <tr> <th>18年度</th><th>19年度</th><th>20年度</th><th>21年度</th><th>22年度</th><th>23年度</th><th>24年度</th><th>25年度</th><th>26年度</th><th>27年度</th><th>28年度</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th> </tr> <tr> <td colspan="5">第1期みどりのわ・ささえ愛プラン 計画推進</td> <td colspan="5">第2期みどりのわ・ささえ愛プラン 計画推進</td> <td colspan="5">第3期みどりのわ・ささえ愛プラン 計画推進</td> <td colspan="5">第4期みどりのわ・ささえ愛プラン 計画推進</td> </tr> <tr> <td colspan="5">第1期市地域福祉計画</td> <td colspan="5">第2期横浜市地域福祉保健計画</td> <td colspan="5">第3期横浜市地域福祉保健計画</td> <td colspan="5">第4期市計画</td> </tr> </table>	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	第1期みどりのわ・ささえ愛プラン 計画推進					第2期みどりのわ・ささえ愛プラン 計画推進					第3期みどりのわ・ささえ愛プラン 計画推進					第4期みどりのわ・ささえ愛プラン 計画推進					第1期市地域福祉計画					第2期横浜市地域福祉保健計画					第3期横浜市地域福祉保健計画					第4期市計画				
18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度																																										
第1期みどりのわ・ささえ愛プラン 計画推進					第2期みどりのわ・ささえ愛プラン 計画推進					第3期みどりのわ・ささえ愛プラン 計画推進					第4期みどりのわ・ささえ愛プラン 計画推進																																									
第1期市地域福祉計画					第2期横浜市地域福祉保健計画					第3期横浜市地域福祉保健計画					第4期市計画																																									

2 民生委員見守り訪問事業

		28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込み	2年度見込み
ふれあいコール	登録者数(前年度末時点)	97人	86人	79人	80人	80人
	通話延べ人数	1,576人	1,270人	989人	1,300人	1,300人
	通話数(1通話3分)	2,818通話	2,168通話	1,701通話	2,000通話	2,000通話
民生委員見守り訪問	見守り・訪問回数	24,945回	25,527回	25,908回	26,000回	26,000回

【実施内容】

1 地域福祉保健計画推進策定事業

(1) 地区別計画推進策定委員会

ア 内容

区内11地区の地区別計画について、第3期計画の最終振り返り等及び第4期計画策定を進める推進策定委員会を開催します。

また、各地区別計画推進策定委員会の代表者連絡会では、各地区の取組について情報共有、意見交換を行い、区内の福祉保健活動の推進を図ります。

イ 実施回数

- ・地区別計画推進策定委員会：各地区2回以上（6～7月頃及び11月～1月頃）
- ・連絡会：2回（5月、11月）

ウ メンバー

- ・地区別計画推進策定委員：330人程度（30人程度×11地区）、地区支援チーム（※）：140人程度（※）区役所・区社協・地域ケアプラザ職員で構成
- ・連絡会：各地区別計画推進策定委員会の代表者11人

エ 事業推進形態

地区別計画の推進に係る各地区委員会の活動に係るコーディネートや地域活動の企画・進行管理等の業務について、地域ケアプラザ等に委託します。

(2) みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会

ア 内容

第3期計画推進の最終振り返り等及び第4期計画策定に関して、委員会を開催し、委員に意見を求めます。

イ 実施回数

2回（8月、12月）

ウ 委員

10人（学識経験者、福祉保健活動団体代表者等で区長が就任を依頼した者）

(3) 計画の広報等

ア 緑区社会福祉大会における先進事例等の共有

緑区社会福祉協議会との共催事業「緑区社会福祉大会」において、第3期計画の重点テーマについて、区内の先進事例や各地区の取組を共有・ディスカッションします。（令和2年度のテーマ：テーマ2「認知症に関する取組」）

また、計画の広報・啓発ツールとして、各地区の取組状況をまとめたパネル等を作成します。

テーマ1	日常的な見守り体制づくりに関する取組	テーマ4	子ども・子育てに関する取組
テーマ2	認知症に関する取組	テーマ5	災害時に支援が必要な方への取組
テーマ3	障がい児・障がい者に関する取組	テーマ6	健康づくりに関する取組

イ 年度末報告書の作成

令和2年度の第3期計画の進捗状況（各地区の取組、区域で実施した事業等）に関する報告書を作成します。（800部）

2 民生委員見守り訪問事業

(1) ふれあいコールに対する助成

民生委員が、要援護者やひとり暮らし高齢者等を訪問し、相談や情報提供を行います。

希望者には定期的に電話をかけ、安否確認や情報提供、相談などを行うふれあいコール事業を実施し、これに要する通話料や活動経費に対し、助成金を交付します。

(2) 民生委員活動マップの作成

担当地区を可視化したマップを作成します。また、マップのプリントアウトに必要なA3判対応カラーレーザープリンターを購入します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域福祉保健計画推進事業	自 5,553	自 4,468	1,085	第4期区地福計画策定に伴う増
区制50周年記念事業	0	自 601	△ 601	事業終了
民生委員見守り訪問事業	自 2,245	自 345	1,900	民生委員活動マップの作成による増
事業費合計	7,798	5,414	2,384	
内 自主企画事業費	7,798	5,414	2,384	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。

課長

青木 恵子

係長

稲田 道
鈴木 毅

係

高橋 哲平
小池 彩加

[緑 区 福祉保健 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	健康づくり	事業開始年度	平成17年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名	健康たうん・みどり推進事業
-----	---------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	1
15	2

事業評価書番号	33
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,004	0	0	0	0	4,004
前年度	4,539	0	0	0	0	4,539
増△減	△ 535	0	0	0	0	△ 535

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	2,240	4,526	4,224
メリット+一般財源	2,240	4,526	4,224
決 算 事業費	2,420	4,451	3,880
メリット+一般財源	2,420	4,451	3,880

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	4,004	4,004
一般財源	4,004	4,004

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	区民が生活習慣の改善や生活習慣病の重症化予防に取り組むことで、健康寿命を延伸し、身近な地域で安心して自立した生活が送れるよう支援します。
-----------	----------------------------------------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市民の死因の6割が、がん、心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病です。 ・第3期緑区地域福祉保健計画(みどりのわ・ささえ愛プラン)でも、健康づくりに関する取組推進を重点テーマとしており、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりを進めるためにも、健康づくりの取組を多角的に推進することが必要です。
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	7 関係団体からの要望
-------------	------------	----------	-------------

2 運営方針等との関係	令和元年度緑区運営方針「2 いきいき暮らせるまち」
-------------	---------------------------

3 根拠法令・要綱等	健康増進法、食育基本法、健康横浜21、緑区健康づくり月間事業の実施及び同事業補助金交付要綱
------------	-----------------------------------------------

【実績の推移・今後見込み】

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度見込	令和2年度見込
健康づくり月間参加者数	6,525	2,281(雨天)	4,804	6,500	6,500
健康づくり講演会参加者数	285	435	372	300	300
思いやり健康づくりの日参加者	1,970	2,039	1,831	2,000	2,000
生活習慣病予防セミナー参加者		104	265	100	100
ウォーキングイベント参加者	88	68	62	150	150

【実施内容】

1 健康づくり月間事業
横浜市では「市民の生涯にわたる健康づくり」を推進するため、10月を「健康づくり月間」として位置づけており、緑区では区民を対象に各種啓発事業を実施しています。

①健康づくり月間イベント
緑区では福祉保健団体(区医師会、区歯科医師会、区薬剤師会等)で組織した実行委員会が、区民まつり会場の健康づくりエリアにおいて健康づくりに関する啓発活動を実施します。
・内容 健康相談、歯科相談、薬の相談、動物の飼育健康相談、沐浴演習、食中毒啓発、健康チェック等
・対象者 緑区民、区民まつり参加者

②健康づくり講演会
区医師会とともに、区民の健康づくりの意識向上のため、食育を含む健康をテーマとした講演会を実施します。
・実施回数 年1回
・対象者 緑区民

2 思いやり、健康づくりの日

平成11年の区制30周年記念から概ね月1回、緑区独自の事業として、区役所ロビー等において健康チェック及び各種測定、健康相談、ウォーキング等を実施しています。事業は保健活動推進員・食生活等改善推進員等と協働で実施し、区民の継続的な健康づくりを支援します。

- ・健康チェック 年9回 ※6月は、食育月間キャンペーンと同時開催
- ・ウォーキング 年6回
- ・対象者 緑区民

3 健康たうん・みどり

保健活動推進員が自主的な企画・運営により、地域住民の健康づくり推進のための講座等を開催できるよう支援します。

これら講座の企画・実施等を通し、保健活動推進員が地域の健康課題を把握し活動を推進する力を育成します。

- ・対象者 連合単位地区の保健活動推進員、地区住民

4 みどり食育実践推進事業 ※事業を統合

区民の健康格差の縮小及び健康寿命の延伸を図るために、様々なライフステージにある人々が、多様な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得できるよう、地域、学校、企業等と連携しながら健全な食生活を実践する力を育てます。

あわせて、成人の野菜摂取量がこの10年間で減少し、「健康日本21」の目標値である350gに届いていない調査結果から、野菜摂取不足が過食を招きやすく、生活習慣病のリスクが上がることを踏まえ、緑被率が市内で高く生産農家が多い緑区で、区民が野菜に親しみ、毎食食べる習慣を身につけるための事業を実施します。

①食育月間・食育の日キャンペーン

食育と噛むことの大切さの推進・普及啓発イベントを実施します。

ア 食育月間キャンペーン

6月の「食育月間」に合わせ、食事診断システムを活用した体験型食事診断、保健活動推進員による健康チェック、食生活等改善推進員によるキャンペーン、歯科相談、野菜直売等を来庁者に向けて行います。

- ・実施回数 年1回（6月） ※思いやり、健康づくりの日と同時開催
- ・対象 緑区民

イ 食育の日キャンペーン【新規】

毎月19日の「食育の日」に合わせ、食事診断システムを活用した体験型食事診断、歯科チェック等を乳幼児健康診断を中心とした来庁者に向けて実施し、食育の啓発を行います。

- ・実施回数 年3回
- ・対象者 乳幼児と母親を中心とする緑区民

②食事診断システムを活用した体験型食育講座

フードモデルを用いた食事診断システムを活用し、様々なライフステージにある区民を対象とした体験型食育講座を実施します。

③緑をたっぷり召し上がれキャンペーン

普段、健康にあまり関心の無い区民を含む不特定多数を対象に、野菜摂取量の向上を目的に、各種イベントや野菜直売の機会等を利用した普及啓発を実施します。実施にあたっては食生活等改善推進員と協働で行います。

- ・実施回数 年4回
- ・対象者 緑区民

④平常時から考える食の備蓄【新規】

平常時から災害時に備えた食の備蓄の重要性を、啓発リーフレット等により、区民に広く周知します。

5 若年層の生活習慣病予防講座

生活習慣病を予防する健診の受診率は依然として低く、健康づくりの事業や啓発が引き続き必要です。平成28年度実施の健康よこはま21市民意識調査では、緑区は意識して運動している人の割合が20代から40代で低く、また、特定健診結果では「BMI」「腹囲」「LDLコレステロール」の値が高い人が全市に比べて多い（40～60代）という結果が出ており、若年期からの生活習慣病予防の取組が必要と考えられます。

これらのことを踏まえ、若年のうちから運動習慣をもつ者が増え、生活習慣病の罹患者が減少することを目指し、子育て支援拠点等子育て中の対象者が集う地域の場合において講座を実施します。

- ・実施回数 年5回
- ・対象者 子育て世代等の若年層

6 ミドリウォーキング

区内で行われている様々なウォーキングイベントや関連情報を分かりやすく紹介し、史跡や自然豊かな緑区の魅力をマップ等で情報提供することで、区民の健康づくり活動の動機づけを図ります。

①ウォーキングイベント

ウォーキングの効用や楽しさを区民に周知し、ウォーキング実践を推進するための各種イベントを、関連団体と連携して企画・実施します。

- ・対象者 緑区民

②ウォーキングマップ増刷

平成30年度に更新したマップを増刷し、広く区民に配布します。

- ・増刷 2,000冊

7 体験型がん啓発事業【新規】

各種事業やイベントにてがんの触診モデル等を使用・展示することで、幅広い年齢層に向けてがん検診の受診への動機づけを図ります。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
健康づくり月間事業	重 1,035	自 1,208	△ 173	50周年記念事業終了による減
思いやり、健康づくりの日	重 487	自 500	△ 13	50周年記念事業終了による減
健康たうん・みどり	重 230	自 230	0	
みどり食育実践推進事業 (令和元年度は緑をたっぷり召し上げれ事業)	重 789	自 1,724	△ 935	みどり食育実践推進事業を統合
若年層の生活習慣病予防講座	重 335	自 179	156	実施手法見直しによる拡充
ミドリウォーキング	重 728	自 698	30	ちらし作成見直し・消費税増税による増
体験型がん啓発事業	重 400	自 0	400	新規事業
事業費合計	4,004	4,539	△ 535	
内 自主企画事業費	4,004	4,539	△ 535	
訳 重点事業	4,004	0	4,004	

【根拠とするデータ等】

健康横浜21をはじめとする各種統計データ、国民健康・栄養調査、事業に伴うアンケート結果等

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり 係
	青木 恵子	奥津 秀子	黒木 空

[緑 区 高齢・障害支援 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	高齢者	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	-----	--------	-------

事業名	高齢者生きがい推進事業
-----	-------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号
	28	2

事業評価書番号	36
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	475					475
前年度	432					432
増△減	43	0	0	0	0	43

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	491	489	432
メリット+一般財源	491	489	432
決 算 事業費	397	500	430
メリット+一般財源	397	500	430

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	475	475
一般財源	475	475

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	高齢者同士の交流を深めるとともに、老人クラブの加入促進やクラブ活動の活性化を図っていきます。日頃の活動発表や、加入促進も兼ねたイベントであるシルバーフェスティバル及び囲碁・将棋大会を開催しています。
-----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等

総人口の4人に1人が高齢者となり、今後も高齢者人口及び総人口に占める高齢者の割合は増え続けることが予測されます。「みどりのわ・ささえ愛プラン」の重点テーマである健康づくりに関する取組のために、高齢者のこれまで培った能力や経験を活かすことが求められます。区老人クラブ連合会には、趣味やスポーツの活動だけでなく、地域活動の中心的な役割を担うことが期待されています。しかし、全市的に老人クラブの加入率は年々低下しており、緑区でも加入率を高めることが喫緊の課題です。

地域の課題等の収集手段				
-------------	--	--	--	--

2 運営方針等との関係	令和元年度緑区運営方針「2 いきいき暮らせるまち」
-------------	---------------------------

3 根拠法令・要綱等	老人福祉法第13条(概要) 地方公共団体のレクリエーション等による老人の健康保持事業実施の責務
------------	-------------------------------------------------

【実績の推移・今後見込み】

平成30年度の参加者数は、囲碁・将棋大会が72名でした。シルバーフェスティバルは悪天候のため、参加者数は目標に届かず、約500名となりました。
今後も老人クラブ未加入の高齢者に対して、加入促進事業を行います。

- 【実施内容】
- (1) 老人クラブ加入促進に向けた啓発活動
 - ・緑区民まつり等において加入を呼びかけます。
 - (2) シルバーフェスティバル等
 - ・シルバーフェスティバル
 - 区内高齢者による演芸大会 参加予定数 600名 場所 緑公会堂 時期 3月上旬
 - ・囲碁・将棋大会
 - 区内高齢者による大会 参加予定数 80名 場所 緑ほのぼの荘 時期 12月上旬

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
老人クラブ加入促進事業	自 223	自 180	43	加入促進用印刷物在庫減による印刷増
シルバーフェスティバル等	自 252	自 252	0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	475	432	43	
内 自主企画事業費	475	432	43	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢・障害運営 係
	米岡 由美恵	深川 愛	二村 智恵

[緑 区 高齢・障害支援 課]

予算区分	地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費	性質・ 課題区 分	高齢者 障害児・者 その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成8年度
------	-------------------------------------	-----------------	-----------------------------	--------	-------

事業名	地域のささえ愛事業
-----	-----------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--------------------------------------------------------------------

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価 書番号	37
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	449					449
前年度	449					449
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	831	449	420
メリット+一般財源	831	449	420
決 算 事業費	350	446	449
メリット+一般財源	350	446	449

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	449	449
一般財源	449	449

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要 (目的)	地域福祉の充実を図るため、緑区社会福祉協議会が地域の要援護者に対して行う移送活動を支援します。
---------------	-------------------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等

高齢者や障害者は、移動に困難を抱える方も多く、社会参加や生きがいがづくりのためには、移動手段や外出機会の確保が求められています。緑区社会福祉協議会では、横浜市から委託されている「外出支援サービス事業」に加えて、介護認定を受けていない高齢者や障害者を対象とした移送活動を行っていますが、活動財源が限られており、安定した活動の継続にとって課題となっています。また、区民のニーズに十分に答えるためには、運転ボランティアの確保も必要です。

地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望
-------------	-------------

2 運営方針等との関係 令和元年度緑区運営方針「2 いきいき暮らせるまち」

3 根拠法令・要綱等 緑区地域支援活動助成事業実施要綱（地域移動活動実施要領）

【実績の推移・今後見込み】

■年度別地域移送活動利用件数

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込
地域移送活動	485	458	508	513	510

【実施内容】

要援護者移送活動に対する助成

・横浜市から委託されている「外出支援サービス事業」の対象とならない、介護認定を受けていない高齢者や障害者を対象として行われている移送活動に対し助成します。（実施団体：緑区社会福祉協議会）

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域移送活動	自 449	自 449	0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	449	449	0	
内 自主企画事業費	449	449	0	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢・障害運営 係
	米岡 由美恵	深川 愛	高橋 温子

[緑 区 高齢・障害支援 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	高齢者	事業開始年度	平成27年度
------	-----------	---------	-----	--------	--------

事業名	高齢者あんしんサポート推進事業
-----	-----------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	16
主な施策番号	4

事業評価書番号	38
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	152					152
前年度	578					578
増△減	△ 426	0	0	0	0	△ 426

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	529	519	353
メリット+一般財源	529	519	353
決 算 事業費	543	515	203
メリット+一般財源	543	515	203

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	100	100
一般財源	100	100

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要 (目的)	緑区認知症高齢者等サポート事業、外出促進事業を展開することによって、地域関係者等と協働で高齢者が安心して生活するための日常的な見守り体制づくり等の地域づくりの推進を目指します。
------------	------------------------------------------------------------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等	平成29年から平成30年の緑区の高齢者人口の推移を見ると、約700人増加しており今後も増加することが見込まれます。高齢者人口の増加に伴い認知症高齢者数も増加が見込まれていますが、平成29年度に行った区レベル地域ケア会議の意見では、未だに「認知症になるのは怖い、どうしたらいいのかわからない」「認知症の人との接し方に悩む」等の意見が出ています。引き続き認知症についての理解促進を行い、認知症の人と家族が地域で安心して生活できる地域づくりを関係機関と連携して行う必要があります。 さらに、孤立予防・介護予防の観点から、日常的な外出の促進につながる地域活動の展開や活動支援が必要です。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 5 区民アンケート
2 運営方針等との関係	令和元年度緑区運営方針 「2 いきいき暮らせるまち」 第3期緑区地域福祉保健計画 「重点テーマ1 日常的な見守り体制づくりに関する取組」「重点テーマ2 認知症に関する取組」
3 根拠法令・要綱等	介護保険法、老人福祉法、高齢者虐待防止法、横浜市高齢者虐待防止事業実施要綱、横浜市徘徊認知症高齢者地域支援事業実施要綱、横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱

【実績の推移・今後見込み】	
	27年度実績 28年度実績 29年度実績 30年度実績 R元年度見込み R2年度見込み
認知症高齢者等SOSネットワーク登録数	85 71 81 61 85 85
認知症サポーター養成数	1,998 2,706 2,470 1,452 2,500 2,500
虐待高齢者新規相談件数	22 26 17 20 30 30

【実施内容】

1 認知症高齢者等サポート事業
認知症高齢者等SOSネットワーク事業登録者の促進や、認知症サポーターを増やすことにより、日頃の生活での見守り支援が充実し、高齢者の行方不明発生時にも見つけやすい地域づくりなどの支援体制を強化します。事業を掲載したリーフレット等による周知、キャラバン・メイトのつどい・認知症サポーター養成講座実施支援、認知症初期集中支援チーム支援。

2 高齢者外出促進事業
27年度に実施したアンケート結果を踏まえ、高齢者の日常的な外出に必要な支援について、モデル地区における地元自治会と協働した検討を行った結果についての情報提供媒体の検証・修正を実施します。

【事業費の内訳】	
	本年度 前年度 差引 説明
認知症高齢者等SOSネットワーク事業	自 100 自 466 △ 366 事業用啓発リーフレット増刷のみ
高齢者外出促進事業	自 52 自 112 △ 60 リーフレット増刷のみとしたため
	0
	0
	0
事業費合計	152 578 △ 426
内 自主企画事業費	152 578 △ 426
訳 重点事業	0 0 0

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 米岡 由美恵	係長 多田 潤子	高齢者支援担当 係 高坂 真美
--------------------	-----------	----------	-----------------

[緑 区 高齢・障害支援 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	障害児・者	事業開始年度	平成28年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名	障害者自主製品販売支援事業
-----	---------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
31	5

事業評価書番号	39
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	395					395
前年度	545					545
増△減	△ 150	0	0	0	0	△ 150

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	466	466	415
メリット+一般財源	466	466	415
決 算 事業費	363	461	209
メリット+一般財源	363	461	209

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	400	400
一般財源	400	400
方針に関する決裁 種別()		
有:件名()、日付(年 月)		
無		

事業の概要(目的)	自主製品販売等を行っている障害者の通所施設を支援することによって、障害者の社会参加や生きがいづくりを支援するとともに、区民の障害理解を促進します。
-----------	---------------------------------------------------------------------------

(説明)						
1 地域の課題等	<p>①区内障害者施設の自主製品についてはそれぞれ特色がありますが、まだ周知共有されていない現状があります。区内施設の販売製品等について、パンフレットや広報チラシの更新、緑区HPによる継続した広報を予定しています。</p> <p>②緑区での各施設の活動は緑区ブランドとしての発信までできていません。販売の機会の拡大、工賃アップなどのため、障害者週間などを通じた広報啓発活動、専門講師を招いた勉強会などを引き続き行う必要があります。</p> <p>③各施設の自主製品の開発や共同販売に向けた意見交換が活発になっています。障害者団体の連絡会の継続や販売の機会の開拓などを継続する必要があります。</p>					
地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望					
2 運営方針等との関係	令和元年度緑区政運営方針 2 いきいき暮らせるまち					
3 根拠法令・要綱等	障害者総合支援法					
【実績の推移・今後見込み】						
区役所での自主製品販売実績						
	H27	H28	H29	H30	R1	R2
団体数	6	6	10	10	12	12
日数		95	156	186	170	175
※R1年度以降は見込み						
【実施内容】						
1 障害者施設のネットワークの強化 区内障害者施設とともに運営する連絡会において、施設間の情報共有を進めるとともに、施設間の連携強化を図ります。						
2 商品の魅力アップや新製品の開発支援 製品や販売に関する意見交換を行い、商品の魅力アップや効果的なPRについて各施設を支援します。						
3 共同販売の促進 区民の障害理解の促進のために、共同販売の場の設定、販路の拡大等の支援を行います。また、共同販売実施時の集客力向上のため、チラシ等を作成します。						
【事業費の内訳】						
	細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	
	障害者施設ネットワークの強化	自 10	自 10	0		
	商品の魅力アップ/新製品の開発援助	自 250	自 300	△ 50	50周年事業に係る費用の減	
	共同販売の推進	自 135	自 235	△ 100	50周年事業に係る費用の減	
				0		
				0		
				0		
	事業費合計	395	545	△ 150		
内 訳	自主企画事業費	395	545	△ 150		
	重点事業	0	0	0		
【根拠とするデータ等】						

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 米岡 由美恵	係長 小松 清純	障害者支援担当 係 長谷川 由佳
--------------------	--------------	-------------	---------------------

[緑 区 生活衛生 課]

予算区分	地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費	性質・ 課題区 分	動物愛護・適正飼育 その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成9年度
------	------------------------	-----------------	--------------------------	--------	-------

事業名	暮らしの衛生推進事業
-----	------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--------------------------------------------------------------------

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価 書番号	41
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,636	0	0	0	0	1,636
前年度	1,749	0	0	0	0	1,749
増△減	△ 113	0	0	0	0	△ 113

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	1,798	1,679	1,759
メリット+一般財源	1,798	1,679	1,759
決 算 事業費	1,863	1,542	1,509
メリット+一般財源	1,863	1,542	1,509

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	1,631	1,631
一般財源	1,631	1,631

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年 月)
無

事業の概要 (目的)	区民が安全で快適な生活を送れるよう、食中毒や感染症の予防、虫や動物との正しい関わり方について周知・啓発を図ります。また、発災時における避難所での衛生対策やペット対策について理解を深めていただくよう事業を実施します。
---------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等	<p>①例年、食中毒や感染症等が多く発生しており、その予防及び発生時の健康被害拡大防止が急務になっています。営業者や区民への衛生知識の普及啓発により、健康被害の防止を図る必要があります。</p> <p>②ペットに関するしつけ・マナーに関する苦情が多く寄せられています。飼い主に対する適正飼育の啓発が必要です。</p> <p>③例年、ハチをはじめとした虫に関する相談が多く寄せられます。虫の生態等について市民向けに周知し、過度に怖がらず、適切な対応がとれるよう啓発することが必要です。</p> <p>④発災時、避難所では、水道が使えない等限られた中で集団生活を行うため、衛生対策が重要となります。そこで、食品や飲用水の衛生管理、避難してきたペットの対策について市民向け周知し、感染症等の予防につなげることが必要です。</p>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和元年度緑区運営方針「1 安全・安心なまち」
3 根拠法令・要綱等	食品衛生法・食品表示法・医薬品、医療機器の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律・狂犬病予防法・動物の愛護及び管理に関する法律・横浜市スズメバチ等対策実施要領

【実績の推移・今後見込み】

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度見込み	令和2年度見込み
食品の相談件数	1,053	1,322	1,144	1,078	1,100	1,100
犬・猫の相談件数	390	298	308	389	400	400
ハチの相談件数	552	419	277	307	300	300

【実施内容】

- 食品衛生等普及啓発事業
 - 食品衛生知識普及啓発
飲食店等の営業者、調理従事者及び区民に対して「手洗いチェック」や「調理器具等の清浄度チェック」など、視覚的にわかりやすい啓発を行います。【通年】
 - 緑区食品衛生協会と行う啓発
食中毒予防キャンペーンや区民まつりにおいて食品衛生に関する知識の普及啓発を行います。【各年1回】
 - 秀級施設の普及啓発
横浜市が定める衛生管理が優れた施設（秀級施設）について、啓発ステッカーを配布し、営業者の食品衛生に対する意識を向上させることで、飲食店の衛生確保につなげます。【通年】
 - 薬と健康に関する普及啓発
区民に対してパネル展等により薬の正しい使い方の普及啓発を行います。【年1回】

2 人と動物との共生事業

- (1) 犬の飼い主マナーアップ
犬の放し飼いの禁止や糞尿の始末の啓発を実施します。【随時】
飼い主に向けた犬のしつけ方教室を実施します。【年2回】
- (2) 緑区獣医師会との共催啓発
緑区獣医師会と共催した動物愛護普及啓発を行います。【通年】
- (3) 改正動物愛護法の周知啓発
動物愛護法の改正に伴う変更点等を事業者や区民に周知します。【通年】

3 安心・快適な暮らし推進事業

- (1) 暮らしの中の虫相談
区民まつりにおいて衛生害虫についての啓発を行います。【年1回】
市民からの虫の相談を受け付け、適切な対応方法を助言します。【随時】
- (2) ハチ用駆除器材貸出
区民が安全かつ安価にハチの巣を駆除できるよう駆除器材の貸し出し及び駆除方法を説明します。【随時】
- (3) 緑区生活衛生協議会と行う啓発
緑区生衛協と共催した衛生啓発を行います。【通年】
- (4) 緑図書館と共催でイベントを開催し、衛生啓発を行います。【年1回】

4 災害時に備えた衛生啓発事業

- (1) 災害時のペット対策啓発
狂犬病予防注射会場及び協力動物病院に加え、ペットショップ等の動物を取扱う施設で、災害時に備えたペット防災チラシを配布し、飼い主に向け啓発します。【随時】
災害時におけるペット対策として、地域防災拠点運営委員及び市民向けにペット防災講演会を行います。【6月頃】

地域防災拠点訓練等で、ペット防災について講話や物品展示を実施します。【随時】
Webページや窓口、展示等で、ペット用避難グッズの紹介や発災時における対応を区民に周知します。【随時】
- (2) 地域防災拠点における衛生啓発
地域防災拠点における手洗いや、食品・飲料水、トイレの衛生、防虫対策等について啓発を行います。【随時】

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
食品衛生普及啓発事業	自 884	自 982	△ 98	区制50周年事業終了に伴う減
人と動物との共生事業	自 170	自 270	△ 100	区制50周年事業終了に伴う減
安心・快適な暮らし推進事業	自 257	自 182	75	必要物品購入による増
災害時に備えた衛生啓発事業	自 325	自 315	10	必要物品購入による増
			0	
			0	
事業費合計	1,636	1,749	△ 113	
内 自主企画事業費	1,636	1,749	△ 113	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

食品衛生関係施設数（平成30年度）、畜犬登録件数（平成30年度）、ハチ等害虫駆除相談件数（平成30年度）、地域防災拠点数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	食品衛生係	係長	環境衛生係
	村上 哲治	佐藤 宏士		今関 修一	